

144/430MHz デュアルバンダー

TM-D750 TM-D750S

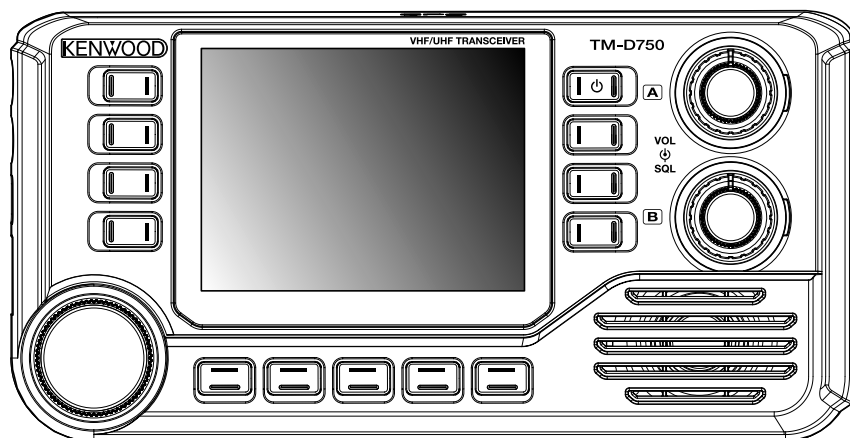
スタートアップガイド

本機の保証書については、このスタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。保証書への「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みください。

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこのスタートアップガイドをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、このスタートアップガイドは大切に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。
本機を使用するには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です。
また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。

このスタートアップガイドは、本機をお使いになるまでに必要な機能や使用方法を説明しています。弊社ウェブサイトに掲載の取扱説明書には、本製品のすべての機能について説明していますので、必要に応じて下記リンクまたはQRコードからご覧ください。

<https://manuals.jvckenwood.com/>



株式会社 JVCケンウッド



安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、下記の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



▲ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをAC コンセントから抜け）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

危険

使用環境・条件



引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



運転しながら本機を操作したり表示を注視するのはおやめください。交通事故の原因となります。必ず安全な場所へ停車してから操作したり表示を確認してください。

警告

使用環境・条件



！ 自局の発射する電波がテレビやラジオやオーディオ機器などの受信や再生に障害を与えたり、障害を受けているとの連絡を受けた場合には、電波法令（運用規則258条）に従って直ちに電波の発射を中止し、障害の程度、有無を確認してください。



！ 緊急時に使用する場合は、本機の情報だけに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認をおこなってください。



⊘ 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



⊘ 空港敷地内、中継局周辺では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください。）。運行の安全や無線局の運用・放送の受信に支障をきたす原因となります。



⊘ 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。



⊘ 本体や付属品、包装材などは幼児の手の届かないところに保管してください。幼児の手の届く場所には置かないでください。あやまって飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

設置されるとき



車両の制御電子機器付近に無線機を設置すると送信したときにこれらの電子機器に影響を与える場合があります。無線機は車両の制御電子機器から離して設置してください。



！ 電源コードを接続する前に、必ずスタートアップガイドまたは取扱説明書をお読みになり、電源電圧を確認してください。



！ 送信時には大きな電流が流れますので、DC 電源コード接続の際は、必ず付属または指定のDC 電源コードを使ってください。火災・感電・故障の原因となります。



⊘ DC 電源コードを接続の際は極性を間違えないように十分注意してください。火災・感電・故障の原因となります。赤の配線はプラス（+）極、黒の配線はマイナス（-）極です。



⊘ DC 電源コードやAC 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、ひっぱったり、無理に曲げたり、ねじったりすると、コードが破損し、火災・感電・故障の原因となります。



⊘ DC 電源コードを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは、絶対にしないでください。火災・故障の原因となります。



⊘ ぬれた手でDC コネクターや電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

本機の取り扱いについて



⊘ この製品は布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、火災の原因となります。直射日光を避け、風通しの良い状態でご使用ください。



⊘ この製品の近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となります。



！ 電源を入れる前に、音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。



⊘ この製品に水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



⊘ この製品を水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



⊘ この製品の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



⊘ この製品は調整済です。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



⊘ 放熱ファンには指を差し込まないでください。けがの原因になることがあります。

DC 安定化電源の使用について



⊘ DC 安定化電源の出力端子に接続するDC 電源コードは、必ず付属のヒューズ入りDC 電源コードをご使用ください。火災・感電・故障の原因となります。



⊘ ぬれた手でDC 安定化電源の電源プラグに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。



！ DC 安定化電源の電源プラグと他の製品の電源プラグをタコ足配線しないでください。過熱・発火の原因となります。



⊘ DC 安定化電源の電源プラグをAC コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。



！ DC 安定化電源の電源プラグにほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災・感電・故障の原因となります。



！ DC 安定化電源の出力端子には定格（出力電圧、出力電流）を超えないように機器を接続してください。

異常時の処置について

-  万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変なおいがするなどの異常な状態になった場合は、すぐに電源スイッチを切り、DC電源端子からDCコネクターを取り外し、DC安定化電源の電源プラグをACコンセントから抜いてください。そして煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
-  万一、内部に水や異物が入った場合や、落したり、ケースを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、DC電源端子からDCコネクターを取り外し、DC安定化電源の電源プラグをACコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
-  ヒューズが切れたときは、切れた原因を調べて対策したあと、必ず指定容量のヒューズと交換してください。原因を調べてもわからない場合やヒューズを交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに電源スイッチを切り、DC電源端子からDCコネクターを取り外し、DC安定化電源の電源プラグをACコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
-  雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、本機およびDC安定化電源の電源プラグをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。またアンテナには触れないでください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。
-  この製品を持ち運ぶときは、落したり、衝撃を与えないようにしてください。けが・故障の原因となります。万一、この製品を落したり、ケースを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、DC電源端子からDCコネクターを取り外し、DC安定化電源の電源プラグをACコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
-  DC電源コードまたはAC電源コードが傷んだら（しん線の露出、断線など）、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

保守・点検

-  この製品のケースは開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご依頼ください。

注意

設置されるとき

-  この製品とTNCなどの外部機器のDC電源を共通にしないでください。火災・故障の原因となる場合があります。
-  この製品のDC電源コードやDC安定化電源のAC電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電・故障の原因となる場合があります。
-  テレビやラジオ、パソコンの近くには設置しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因となる場合があります。
-  直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所には設置しないでください。内部の温度が上がリ、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となる場合があります。
-  湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となる場合があります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。



この製品のDC電源端子からDCコネクターを取り外すときや、DC安定化電源の電源プラグをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。必ずDCコネクターまたは電源プラグを持って抜いてください。



この製品を移動させる場合は、必ず電源コードやケーブルなどを取り外してからおこなってください。電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電・故障の原因となる場合があります。

アンテナを設置されるとき



アンテナコネクターには50Ω系の同軸ケーブルを使用して、50Ωのアンテナを接続してください。また同軸ケーブルやアンテナのインピーダンスマッチングをとり、SWR=1.5以下でご使用ください。SWRが高いまま使用すると送信出力の低下や電波障害の原因となる場合があります。



容易に人体などに触れることができないように設置してください。アンテナ線は非常に高い電圧になることがあるため、けが・感電・故障の原因となる場合があります。



通常、人が出入りできるような場所（屋上やベランダなど）にアンテナやアンテナチューナーを設置する場合は、その高さが人の歩行、その他起居する平面から2.5m以上離して設置してください（電波法施行規則第22条、第25条参照）。けが・感電・故障の原因となる場合があります。



テレビやラジオの近くには設置しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因となる場合があります。



火災・感電・故障・けがに対する保護のため避雷器をご使用ください。



アースが必要なアンテナは良好なアースをとってください。アースが良好でないと感電やテレビ、ラジオなどへの電波障害の原因となる場合があります。



アースをとるときには、ガス管、配電用のコンジットパイプ、プラスチック製水道管などに、絶対に接続しないでください。また、空調機や給水ポンプなど、他の機器のアースと共用しないでください。他の機器が誤動作する原因となる場合があります。

本機の取り扱いについて



アンテナを接続しない状態で、送信しないでください。火災・故障の原因となる場合があります。



EXT.SP（外部スピーカー）ジャック、MIC（マイクロホン）ジャックには指定のスピーカー、マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となる場合があります。



EXT.SPジャックにヘッドホンを接続しないでください。大出力が出て、聴覚を痛める原因となる場合があります。



背面の冷却ファンに金属物などを差し込まないでください。故障の原因となる場合があります。



ハンディートランシーバーをこの製品に近づけないでください。ハンディートランシーバーから雑音が聞こえる原因となる場合があります。その場合は、ハンディートランシーバーをこの製品から離してください。



microSDカードの取り付け取り外しの際は、爪を引っ掛けないように注意してください。



旅行などで長期間この製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源スイッチを切りDC電源端子からDCコネクターを取り外し、DC安定化電源の電源プラグをACコンセントから抜いてください。

保守・点検



お手入れの際は、安全のため必ず電源スイッチを切りDC電源端子からDCコネクターを取り外し、DC安定化電源の電源プラグをACコンセントから抜いてください。



水滴が付いたら、乾いた布でふきとってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

目次

安全上のご注意

安全上のご注意	2
---------------	---

はじめに

取扱説明書の構成について	5
本機の特長	5
電波法上のご注意	5
無線 LAN (WLAN) の現品表示について	5
Bluetooth® の現品表示について	5
録音したものの著作権	6
本書の著作権/登録商標について	6
ソフトウェアの使用許諾書	6
免責事項について	6

ご使用の前に

付属品の確認	7
車両への取り付け	7
固定局で使用	8
ヒューズの交換	9
アンテナの取り付け	9
操作パネルとマイクロホンの接続	9

各部の名称と機能

操作パネル	10
本体	17
マイクロホン (MC-62)	18

基本操作

電源を ON/OFF する	19
内蔵時計の設定	19
NTP サーバー	19
音量を調節する	19
デュアルバンド/シングルバンドを選択する	19
操作バンドを選択する	20
復調モードを選択する	20
周波数を変更する	20
スケルチの調整	21
送信する	21
送受信できる周波数帯について	21

メニューモード

メニューモードの操作	22
文字入力のしかた	22
漢字入力	23
メニュー一覧	24

その他

リセット	31
免許手続について	32
保証とアフターサービス	32
修理を依頼されるときは	32
仕様	33

取扱説明書の構成について

本書では、はじめて本製品をお使いになるまでに必要な機能や使用方法について説明しています。
本書に記載していない詳細な機能をご使用になる場合は、弊社ウェブサイトに掲載されている、取扱説明書をご覧ください。
<https://manuals.jvckenwood.com/>

本機の特長

本機の主な機能は次のとおりです。

- APRS®データ通信システム対応
- APRS®デジピーター機能搭載
- D-STAR®DIGITAL 対応
- D-STAR®2 波同時受信対応
- D-STAR®ダイレクトモード
- D-STAR®レピーターモニター
- D-STAR®リフレクターターミナルモード
- D-STAR®レピーターターミナルモード
- GPS ユニットを内蔵(みちびき対応)
- カラー液晶を採用
- 2 波同時受信 (VxV, VxU, UxU, エアバンド)
- 操作パネル内蔵スピーカー
- ビジュアルスキャン、ウォーターフォール表示
- DSP による音声処理
- メニュー設定の読み上げ機能(ボイスガイド)
- Bluetooth 内蔵 (SPP, HSP)
- 無線 LAN 内蔵
- microSD メモリーカード対応 (2GB ~ 32GB)
- USB Type-C™ によるデータ送受信に対応
- 1000 メモリーチャンネル、1500 レピーターリスト、30 ホットスポットリスト
- 送信出力
TM-D750 (20 W/10 W/5 W)
TM-D750S (50 W/10 W/5 W)

電波法上のご注意

- ・電波法第 59 条で『特定の相手方に対しておこなわれる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない』とし、第 109 条で『無線局の取扱中に係る無線通信の秘密を漏らし、又は窃用した者は、一年以下の拘禁刑又は五十万円以下の罰金に処する』と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますので十分ご注意ください。電波法を守って正しく運用してください。
- ・本機は電波法の工事設計認証を取得した適合表示無線設備です。工事設計認証番号が記載された本体底面の機種銘版は剥がさないでください。

無線 LAN (WLAN) の現品表示について

本体底面のラベルに記載されている、無線 LAN 機能についての現品表示について説明します。

2.4DS/OF4

- 「2.4」 : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- 「DS」 : 変調方式を表します(DS-SS 方式)。
- 「OF」 : 変調方式を表します(OFDM 方式)。
- 「4」 : 想定干渉距離を表します(40 m 以下)。
- 「■■■■」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

無線 LAN 機能による電波干渉についてのご注意

本機の無線 LAN 機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

2.4 GHz 無線 LAN 使用上の注意事項

- 本機が使用できるチャンネル番号は Ch1~Ch13 です。
無線 LAN に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。
- ・本機の無線 LAN 機能を ON する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など(以下「他の無線局」という)が運用されていないことをご確認ください。
 - ・万一、本機の無線 LAN 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の無線 LAN 機能を OFF してください。
 - ・その他、本機の無線 LAN 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生するなどお困りの場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

5 GHz 無線 LAN 使用上の注意事項

- 5 GHz の周波数帯については、5.2 GHz 帯、5.3 GHz 帯、5.6 GHz 帯(W52,W53,W56)の帯域を使用できます。
本機が使用できる周波数帯域とチャンネル番号は次のとおりです。
- ・ W52(Ch36, Ch40, Ch44, Ch48)
 - ・ W53(Ch52, Ch56, Ch60, Ch64)
 - ・ W56(Ch100, Ch104, Ch108, Ch112, Ch116, Ch120, Ch124, Ch128, Ch132, Ch136, Ch140)
- 電波法により W52、W53 は屋外及び自動車内での利用は禁止されています。
W52 を自動車内や屋外で使用するには条件を満たす必要があります。お客様の目的に応じた最新の利用条件を総務省のサイトでご確認の上、ご使用いただけますようお願いいたします。
本機は無線 LAN 端末(子局)です。

総務省 電波利用ポータルサイト：
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/wlan_outdoor/

Bluetooth®の現品表示について

本体底面のラベルに記載されている、Bluetooth 機能についての現品表示について説明します。

2.4FH4

- 「2.4」 : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- 「FH」 : 変調方式を表します (FHSS:周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。
- 「4」 : 想定干渉距離を表します (40 m 以下)。
- 「■■■■」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します (本機の Bluetooth 機能は、AFH:適応型周波数ホッピング方式に対応しています)。

Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetooth に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。
- ・本機の Bluetooth 機能を ON する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など(以下「他の無線局」という)が運用されていないことをご確認ください。
 - ・万一、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の Bluetooth 機能を OFF してください。
 - ・その他、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生するなどお困りの場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

録音したものの著作権

放送の内容を本製品に録音した場合は、個人として楽しむほかは、著作権法上の権利者に無断で使用できません。

本書の著作権/登録商標について

本書、お買い上げの製品および製品に付属されているすべてのマニュアルやその他の書類などの著作権、その他のいかなる知的財産権はすべて株式会社 JVC ケンウッドに帰属するものとします。

本書を個人のウェブサイトなどで再配布される場合には、事前に弊社から書面での使用許諾を得てください。

本書を譲渡、賃貸、リース、販売する行為を禁止します。

株式会社 JVC ケンウッドは、本書および関連するマニュアル類に記載されている製品やソフトウェアの品質および機能が、お客様の使用目的に適合することを保証するものではなく、また、本資料に明示的に記載された以外、瑕疵担保責任および保証責任を一切負いません。

- APRS® (Automatic Packet Reporting System) の商標は、譲受人である Tucson Amateur Packet Radio Corp. の許可を得て使用しています。
- EchoLink® は、Synergenics, LLC が米国で取得した登録商標です。
- SmartBeaconing™ は、HamHUD Nichetronix 社から提供されています。
- ナビトラ、NAVITRA は、弊社の登録商標です。
- D-STAR® は、一般社団法人日本アマチュア無線連盟の登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™ および USB-C™ は USB Implementers Forum の商標です。
- microSD™、および microSDHC™ は、SD-3C, LLC の商標です。
- 本製品には、株式会社コビキタス AI の高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社コビキタス AI の商標です。

Copyright© 2025 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標、および登録商標です。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

音声圧縮 (符号化) 方式について

米国 DSVI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos.

#11,990,144, #11,715,477, #8,595,002, and #8,359,197.

ソフトウェアの使用許諾書

本機で使用されるソフトウェアの使用条件を掲載したものがソフトウェアの使用許諾書です。お客様は、お客様がこのソフトウェアの使用許諾書を同意したことを条件に本機を使用することができます。また、このソフトウェアの使用許諾書は、本機で使用されるソフトウェアの使用条件を規定しただけで、お客様は、国内法規および諸規定、本書ならびに保証書に記載および規定されている範囲で本機を使用することができます。

- ソフトウェアの使用許諾書は、メニュー No.993 で確認することができます。

免責事項について

- 本書に記載された内容の正確性について万全を期しておりますが、誤解を生む可能性のある記載や、誤植を含む可能性があります。それらによって生じたいかなる損害に関しても、株式会社 JVC ケンウッドは一切の責任を負わないものとします。
- 株式会社 JVC ケンウッドは、本書に記載された製品仕様などを予告なしに修正や改善をすることがあります。それによって生じたいかなる損害に関しても、一切の責任を負わないものとします。
- 株式会社 JVC ケンウッドは、本機以外の機器との接続や使用から生じたいかなる不具合、故障、損害に関しても一切の責任を負わないものとします。
- 株式会社 JVC ケンウッドは、本機がお客様の使用目的に完全に適合することを保証するものではなく、また、本書に明示的に記載された以外、本機に関する瑕疵担保責任および保証責任を一切負いません。また、外部機器はお客様の責任で選択、導入いただき、同様にその結果についてもお客様が責任負担されるものとします。
- 株式会社 JVC ケンウッドは、本機を使用した結果、不具合や誤動作などによって通信や通話の機会を逸したために発生した損害などの付随的な損害に対する責任を負わないものとします。

説明上の注釈表記について



- ◆ このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。



- ◆ このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

本書で使用する画面について

- 本書で使用する画面は開発中のものであり、実際の画面とは異なる場合があります。
- 説明書上の表示例は、実際の運用とは合わないことがあります。

ご使用の前に

付属品の確認

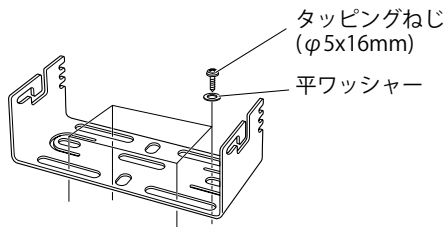
付属品がすべてそろっていることを確認してください。

名称	数量	名称	数量
マイクロホン(MC-62 と同等品)	1	パネルホルダー	1
DC 電源コード(2 m)/20 A × 2 ヒューズ付(PG-2N と同等品)	1	パネルブラケット	1
予備ヒューズ(10 A)/TM-D750 用	1	ベーススタンド	1
予備ヒューズ(15 A)/TM-D750S 用	1	ねじセット	1
パネルケーブル(4 m)	1	スタートアップガイド(保証書)	1
ラインフィルター	2	マイクホルダー(ねじ付)	1
JARL 入会申込書	1	車載ブラケット	1

車両への取り付け

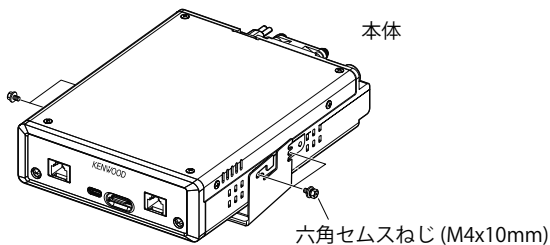
本体の取り付け

- 1 付属の平ワッシャーとタッピングねじ(各4個)で、車載ブラケットを車体に取り付ける

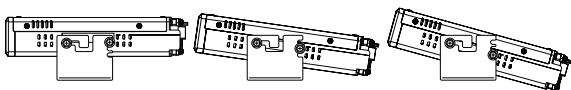


- 2 付属の六角セムスねじ(4個：ブラケットの左右各2個)で車載ブラケットに本体を取り付ける

- ・ プラスドライバー、または7mm幅のスパナなどで六角セムスねじを固く締める



- ・ ブラケット両側の後ろ端にある3つのネジ穴を使用して、本体の取り付け角度を調整できます。



- ◆ 取り付け位置は、走行中の安全性や操作性を考慮した場所に取り付けてください。
- ◆ 常に直射日光に当たる位置、風通しの悪い位置への取り付けは避けてください。放熱を考慮し、底面の放熱フィンや背面のファン、側面の空気穴をふさがない位置に取り付けてください。
- ◆ 振動で外れないように、しっかり取り付けてください。
- ◆ ねじが緩んでいると無線機が脱落してけがの原因になります。しっかり固定してください。

操作パネルの取り付け

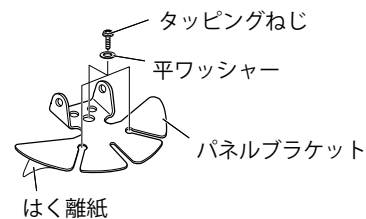
- ◆ 操作パネルは、GPS 衛星からの電波が受信しやすいところに設置してください。
- ◆ 操作パネルは垂直に設置してください。傾けて取り付けると、GPS 衛星からの電波を正しく受信できない場合があります。

- ⚠ エアバッグ装置の周辺には取り付けないでください。万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときに取り付けられた物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

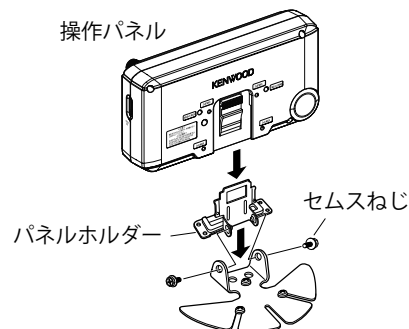
- 1 パネルブラケットを取り付ける場所の汚れを中性洗剤などできれいに拭き取り、よく乾かす

- 2 パネルブラケット底面の両面テープのはく離紙を剥がし、付属の平ワッシャーとタッピングねじ(各3個)で、車両に固定する

- ・ 車両に固定してから、しばらくはスタンドに触れたり振動をあてないでください。
- ・ 一度パネルブラケットを剥がすと、両面テープの粘着力が弱まるため再利用できなくなります。



- 3 パネルホルダーを付属のセムスねじ(2個)を使用して、パネルブラケットに取り付ける



- 4 操作パネルをパネルホルダーにロックするまで差し込む

電源の接続

DC 電源コードをバッテリーの端子に直接接続してください。シガーライタープラグなど供給が不安定な電源を使用した場合は、性能の保持ができません。

なお、車両によっては、無線機の DC 電源コードをバッテリー端子に直接接続すると、車両のセンサーが正常に動作しない場合があります。そのときはマイナス端子をボディアースに接続するなどしてください。

■ 車両のアース

車載運用時には、おもに短縮型のホイップアンテナが使用されています。ホイップアンテナの場合、アースが重要な役割をしていますので、給電部で確実にシャーシアースをしてください。

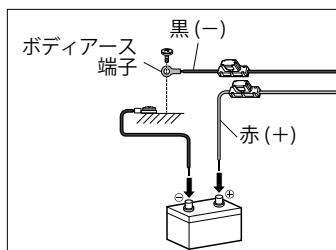
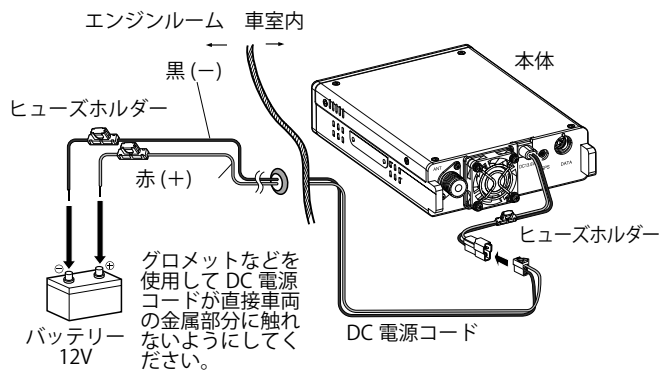
■ イグニッションノイズ対策

本機はイグニッションノイズに対して十分配慮されていますが、車種により大きいレベルのノイズを発生する場合があります。このような場合は、抵抗入り点火プラグのご使用をおすすめします。



- ◆ バッテリーは十分に電流量があるものを使用してください。
- ◆ ショート事故を防止するため、バッテリーの端子に接続されているコードは本機の配線が完了するまで必ず外してください。
- ◆ 取り付け/配線が終了し、誤配線がない確認後、バッテリーの端子にコードを接続してください。
- ◆ 配線終了後、ヒューズホルダーを耐熱性のテープで巻き、水滴などから保護してください。

DC 電源コードが熱や水滴の影響を受けない場所を選んで配線し、しっかりと固定してください。

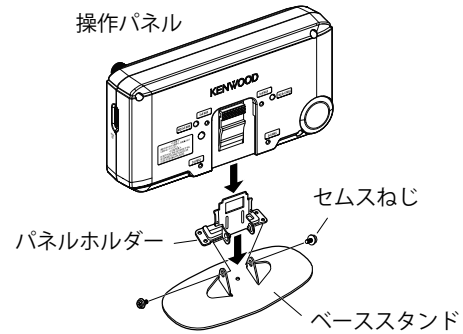


固定局で使用

操作パネルの取り付け

- 1 パネルホルダーを付属のセムスねじ (2 個) を使用して、ベーススタンドに取り付ける

2 操作パネルをパネルホルダーにロックするまで差し込む



電源の接続

本機を固定局として運用する場合は、13.8 V の DC 安定化電源に接続します。

DC 安定化電源は、下記電流量のものをご使用ください。

TM-D750S : DC 13.8 V 13 A 以上

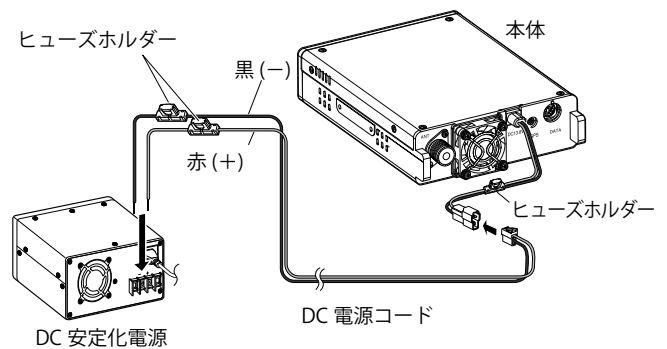
TM-D750 : DC 13.8 V 8 A 以上

1 DC 電源コードを DC 安定化電源に接続する

赤：プラス (+) 極、黒：マイナス (-) 極

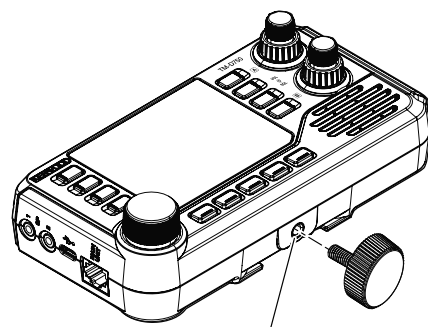
2 本機と DC 電源コードのコネクターどうしを接続する

コネクターは確実に差し込んでください。



市販の三脚などへの取り付け

操作パネルは、パネルホルダーを使用せずに市販の三脚などを取り付けて使用できます。



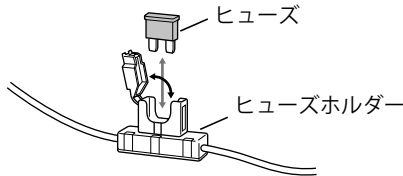
マウント穴 (直径 1/4 インチ、最大ねじ長 5 mm)



- ◆ 車両への取り付け時は、付属のパネルホルダーとパネルブラケットのご使用をおすすめします。
- ◆ 市販の車載マウントキットを使用する場合は、本機の重量での使用が問題ないか、走行中にぐらつきなどが発生しないかをよくご確認の上で使用してください。本機に適さないマウントキットを使用すると脱落などによるけがや、火災・感電・故障の原因となる場合がありますので、おやめください。

ヒューズの交換

ヒューズが切れたときは、切れた原因を対策したあとに、必ず指定容量のヒューズに交換してください。交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、DC 電源コードのコネクターを抜いて、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡ください。

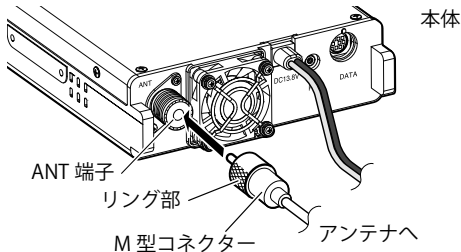


必ず指定されたヒューズを使用してください。

- ◆ DC 電源コードのヒューズは 20 A です。
- ◆ 本体側の DC 電源コードのヒューズは TM-D750 が 10 A、TM-D750S が 15 A です。

アンテナの取り付け

1 背面の ANT 端子(M 型)に、アンテナケーブルを接続する



2 アンテナケーブルの M 型コネクター外側のリング部を、無線機本体の ANT 端子にしっかりと締める

アンテナについて

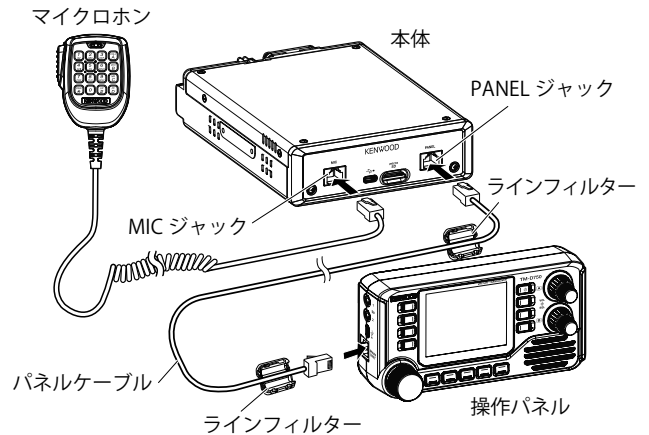
- アンテナは、それぞれの周波数帯に適したものを接続してください。他の周波数帯用のアンテナを使用すると、送受信の性能が極端に悪くなります。
- 本機のアンテナインピーダンスは 50 Ω です。50 Ω 系でなるべく低損失の同軸ケーブルを使用し、できるかぎり短い長さで 50 Ω の低 SWR (1.5 以下) アンテナに接続してください。
- アンテナ系のインピーダンスが異なっていたり、調整が不完全なときは、性能が十分に発揮されません。また、保護回路が作動して送信出力が低下したり、他の電子機器の動作に影響を与えることがあります。



- ◆ 固定局で運用する場合は、落雷による火災、感電、人体への障害、機器の損傷などを防ぐために、アンテナに避雷器を取り付けることをおすすめします。

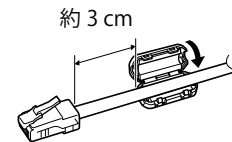
操作パネルとマイクロホンの接続

本体にマイクロホンと操作パネル(付属のパネルケーブル使用)を接続します。



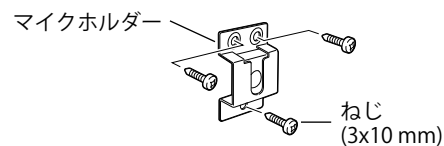
■ ラインフィルターの取り付け

プラグから約 3 cm の位置に取り付けてください。



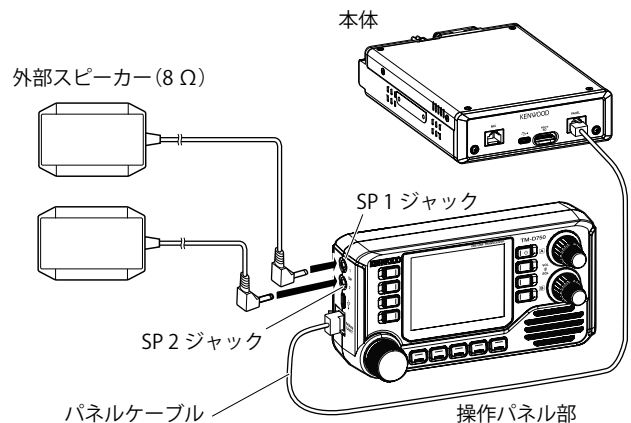
■ マイクホルダーの取り付け

マイクホルダーは付属のねじ(3 個)を使用して、マイクロホンをマイクホルダーに掛けるときに、運転に支障の無い場所に確実に取り付けてください。



外部スピーカーの接続

操作パネル側面の SP 1 および SP 2 ジャック(インピーダンス 8 Ω)に、市販の外部スピーカー(インピーダンス 8 Ω)を接続します。SP 1 ジャックに外部スピーカーを接続すると、内部スピーカーからは音声聞こえなくなります。

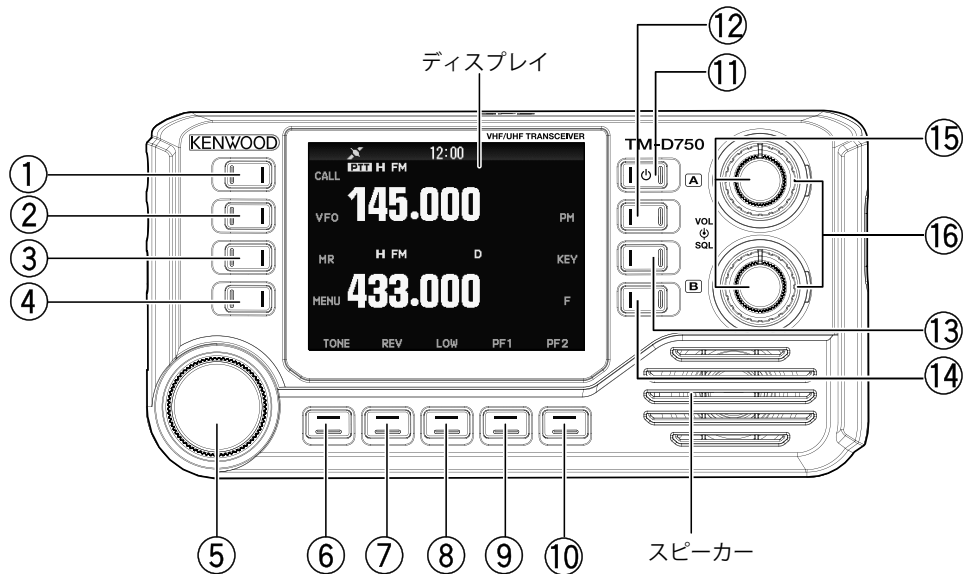


- ◆ インピーダンス 4 Ω のスピーカーは接続しないでください。状況によっては、消費電流の増加によりパネルケーブルの定格電流容量を超えて発熱するなどの不具合が発生するおそれがあります。

各部の名称と機能

操作パネル

ノーマルモード時



① [CALL]

[CALL]を押すと CALL チャンネルを呼び出します。
[CALL]を長く押すと CALL スキャンを開始します。

② [VFO]

[VFO]を押すと VFO モードになります。
[ENC] ツマミを回すと周波数が変わります。
[VFO]を長く押すとバンドスキャンを開始します。

③ [MR]

[MR]を押すとメモリーチャンネルモードになります。
[ENC] ツマミを回すとメモリーチャンネルが変わります。
[MR]を長く押すとメモリスキャンを開始します。

④ [MENU]

[MENU]を押すとメニューモードになります。

⑤ [ENC] ツマミ (エンコーダーツマミ)

[ENC] ツマミを回すと周波数やメモリーチャンネル、メニュー項目、スキャン方向などの値が変わります。
[ENC] ツマミを押すと VFO モードや CALL チャンネルモードのときは MHz モードになります。メモリーチャンネルモードのときは、メモリーチャンネルリストを表示します。
[ENC] ツマミを長く押すと MHz スキャン、またはメモリーグループスキャンを開始します。

⑥ [TONE]

[TONE]を押すとトーン機能が ON します。
[TONE]を押すたびに、次のように機能が切り替わります。
トーン機能 ON → CTCSS 機能 ON → DCS 機能 ON → クロストーン機能 ON → OFF

⑦ [REV]

[REV]を押すとリバース機能が ON/OFF します。

⑧ [LOW]

[LOW]を押すたびに送信出力が次のように切り替わります。
ミディアムパワー → ローパワー → ハイパワー

⑨ [PF1]

[PF1]を押すとキーに割り当てた任意の機能が動作します。
※ お買い上げ時の設定は [BAND] (周波数帯の切り替え) です。

⑩ [PF2]

[PF2]を押すとキーに割り当てた任意の機能が動作します。
※ お買い上げ時の設定は [CTRL] (操作バンドのみの切り替え) です。

⑪ [I] 電源スイッチ

[I]を長く押すことに電源を ON/OFF します。
※ 「メニュー No.922 ボイスガイダンス設定」が「マニュアル/オート 1/オート 2」のときは [VOICE] を表示し、[I]を押すことに音声アナウンスをします。

⑫ [PM]

[PM]を押すと PM(プログラマブルメモリー)チャンネル選択モードになり、PM チャンネルを呼び出せます。

⑬ [KEY]

[KEY]を押すたびにソフトキーが次のように切り替わります。
APRS ソフトキー → デジタルソフトキー → GPS ソフトキー → Radio ソフトキー

⑭ [F]

[F]を押すとファンクションモードになります。
[F]を長く押すとキーロック機能を ON/OFF します。

⑮ [BAND SEL] ツマミ (VOL)

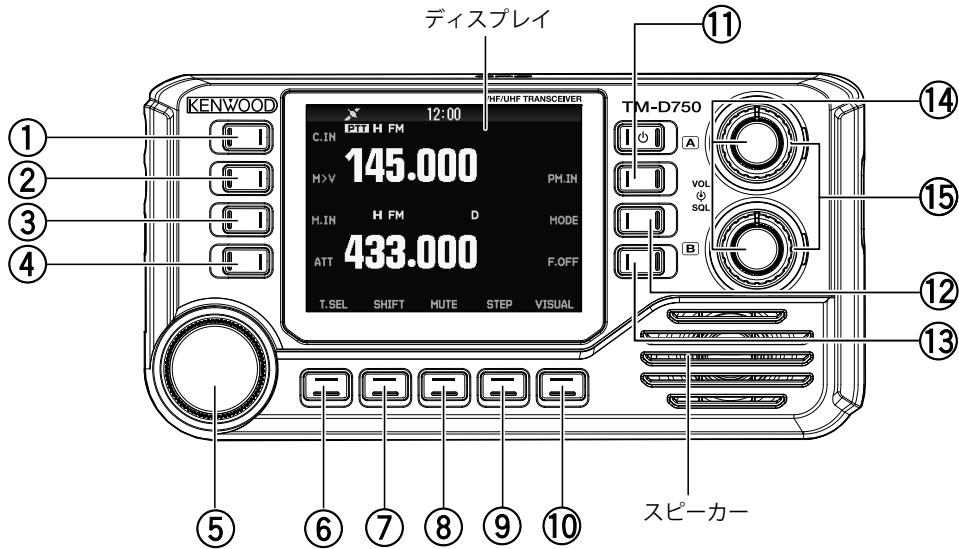
音量を調節したい方の [BAND SEL] ツマミを回します。
選択したい方の [BAND SEL] を押すと操作バンドと送信バンドが同時に選択されます。
上側を押すと A バンド、下側を押すと B バンドが操作バンドと送信バンドになります。
[BAND SEL] を長く押すとシングルバンドとデュアルバンドモードが切り替わります。
※ [BAND SEL] は、上側を [BAND SEL A]、下側を [BAND SEL B] と区別しています。また、バンドは表示面の上側を「A バンド」、下側を「B バンド」と区別しています。

⑯ [SQL] ツマミ

[SQL] ツマミを回してスケルチのレベルを調整します。時計方向に回すとスケルチが深くなり、反時計方向に回すとスケルチが浅くなります。

ファンクションモード時

ノーマルモード時に、[F]を押すとファンクションモードに入り、各キーの機能が切り替わります。



① [C.IN]

[C.IN]を押すと表示中の周波数をCALLチャンネルに書き込みます。

② [M>V]

[M>V]を押すとメモリーチャンネルやCALLチャンネルの内容がVFOモードに移ります(メモリーシフト)。

③ [M.IN]

[M.IN]を押すと表示されている周波数が[ENC]ツマミで選んだメモリーチャンネルに書き込まれます。

④ [ATT]

[ATT]を押すと操作バンドのATTのON/OFFが切り替わります。

⑤ [ENC] ツマミ (エンコーダーツマミ)

[ENC] ツマミを回すと周波数やメモリーチャンネル、メニュー項目、スキャン方向などの値が変わります。
[ENC] ツマミを押すとノーマルモードに戻ります。メモリーチャンネルモードのときは、メモリーチャンネルリストを表示します。
[ENC] ツマミを長く押すとMHzスキャン、またはメモリーグループスキャンを開始します。

⑥ [T.SEL]

トーン、CTCSS、DCSまたはクロストーン機能をONしているときに[T.SEL]を押すと、トーン、CTCSS、DCSまたはクロストーン機能の設定モードになります。
[T.SEL]を長く押すと、トーンスキャン、CTCSS スキャンまたはDCS スキャンを実行します。
[ENC] ツマミを回してトーン/CTCSS 周波数、DCS コード、クロストーンの組み合わせを選択します。

⑦ [SHIFT]

[SHIFT]を押すとシフト方向選択モードになります。
[SHIFT]を押すたびに、次のように切り替わります。
プラス→マイナス→OFF

⑧ [MUTE]

[MUTE]を押すとミュート機能がON/OFFします。

⑨ [STEP]

[STEP]を押すとステップ周波数の設定モード(リスト画面)になります。

⑩ [VISUAL]

[VISUAL]を押すとビジュアルスキャン機能をONにします。

⑪ [PM.IN]

[PM.IN]を押すとPMチャンネル手動登録モードになり、表示されている状態を書き込みます。

⑫ [MODE]

[MODE]を押すと操作バンドの復調モードが次のように切り替わります。
FM/NFM→DV (DR)→AM→FM/NFM

⑬ [F.OFF]

[F.OFF]を押すとファンクションモードを終了します。

⑭ [BAND SEL] ツマミ (VOL)

操作バンドの[BAND SEL]を押すと周波数帯またはメモリーグループが変わります。

⑮ [SQL] ツマミ

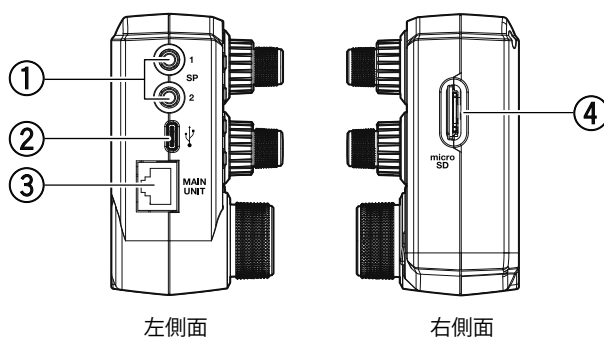
[SQL] ツマミを回してスケルチのレベルを調整します。時計方向に回すとスケルチが深くなり、反時計方向に回すとスケルチが浅くなります。



◆ トーン周波数は、本機の状態により下記の設定項目に変わります。

トーン OFF	: 無効
トーン ON	: トーン周波数
CTCSS ON	: CTCSS 周波数
DCS ON	: DCS コード
クロストーン ON	: クロストーン組み合わせ
TRAIN チャンネル時	: 空線信号タイプ
ボイスアラート ON	: ボイスアラート周波数

側面



① SP ジャック (SP 1/SP 2)

外部スピーカーを接続します。スピーカージャックは SP1 と SP2 の 2 系統があります。外部スピーカーを接続したときの音声出力は、スピーカ出力モードとスピーカの接続状態で変化します。

② USB コネクター (USB Type-C™)

本機と PC を市販の USB ケーブル (USB Type-C™) を使用して接続できます。

③ MAIN UNIT ジャック

本体部接続用端子です。付属のパネルケーブルで接続します。

④ microSD メモリーカードスロット

microSD メモリーカードを取り付けて、設定データや録音データ、交信履歴などを保存できます。

表示部



■ 共通アイコン表示部

表示	説明
	内蔵 GPS 機能が ON で測位をしているときに表示します。
	内蔵 GPS 機能が ON で測位をしていないときに表示します。
	外部 GPS 機能が ON で測位をしているときに表示します。
	外部 GPS 機能が ON で測位をしていないときに表示します。
	気象観測装置接続中のときに表示します。
	GPS 軌跡ログ機能が ON で測位をしているときに表示します。
	GPS 軌跡ログ機能が ON で測位をしていない時に表示します。
	受信メッセージがあるときに表示します。
	交信内容の録音中に表示します。
	交信内容の録音一時停止中に表示します。

各部の名称と機能

表示	説明
	プライオリティスキャン機能が ON のときに表示します。
	Bluetooth が ON に対応機器と接続されていないときに表示します。
(青)	Bluetooth が ON に対応機器と接続中に表示します。
	無線 LAN が ON に対応機器と接続されていないときに表示します。
	無線 LAN が ON に対応機器と接続中に表示します。
	無線 LAN が ON に対応機器と接続中で、ネットワークとの接続エラー時に表示します。
(緑)	操作パネルの microSD メモリーカードが利用可能になると表示します。 microSD メモリーカードのマウント中は点滅します。
(青)	本体の microSD メモリーカードが利用可能になると表示します。 microSD メモリーカードのマウント中は点滅します。
	キーロックが ON のときに表示します。
	設定している PM 番号を表示します。(PM 自動書き込み ON)
	設定している PM 番号を表示します。(PM 自動書き込み OFF)
	ミュート時に表示します。

■ A バンド/B バンド表示部

表示	説明
	S メーター：受信時の信号の強さを表示します。
	RF メーター：送信時のパワーレベルを表示します。
	送信バンドであることを示します。
	操作バンド (A/B) であることを示します。
	送信出力がローパワーに設定されているときに表示します。
	送信出力がミディアムパワーに設定されているときに表示します。
	送信出力がハイパワーに設定されているときに表示します。
	FM モードのときに表示します。
	ナロー FM モードのときに表示します。
	AM モードのときに表示します。
	DR (デジタルレピーター) モードのときに表示します。
	DV (デジタルボイス) モードのときに表示します。
	ボイスアラートの設定が「On」のときに表示します。
	ターミナルモードで受信中に表示します。
	ターミナルモードで送信中に表示します。

各部の名称と機能

表示	説明
VAR	ボイスアラートの設定が「受信のみ」のときに表示します。
T	トーン機能が ON のときに表示します。
CT	CTCSS 機能が ON のときに表示します。
DCS	DCS 機能が ON のときに表示します。
T/C	クロストーン機能が「TONE/CTCSS」のときに表示します。
D/C	クロストーン機能が「DCS/CTCSS」のときに表示します。
T/D	クロストーン機能が「TONE/DCS」のときに表示します。
D/O	クロストーン機能が「DCS/OFF」のときに表示します。
TR1	空線キャンセラータイプ 1 を表示します。
TR2	空線キャンセラータイプ 2 を表示します。
TR3	空線キャンセラータイプ 3 を表示します。
+	シフト方向がプラスに設定されているときに表示します。
-	シフト方向がマイナスに設定されているときに表示します。
≡	シフトが-7.6MHz に設定されているときに表示します。
±	スプリットチャンネルを呼び出したときに表示します。
R	リバース機能が ON のときに表示します。
ATT	アッテネーター機能が ON のときに表示します。
APRS 12	APRS モードでパケットスピードが 1200 bps に設定されているときに表示します。
APRS 96	APRS モードでパケットスピードが 9600 bps に設定されているときに表示します。
KISS 12	KISS モードでパケットスピードが 1200 bps に設定されているときに表示します。
KISS 96	KISS モードでパケットスピードが 9600 bps に設定されているときに表示します。
STA	パケットモードでスタンバイ状態のときに表示します。
BCON	ビーコン送信機能が ON に設定されているときに表示します。
OBJ	オブジェクト送信機能が ON に設定されているときに表示します。

メニューモード画面

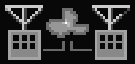
操作ガイド表示
エリア

D-STAR (DV/DR モード) 画面



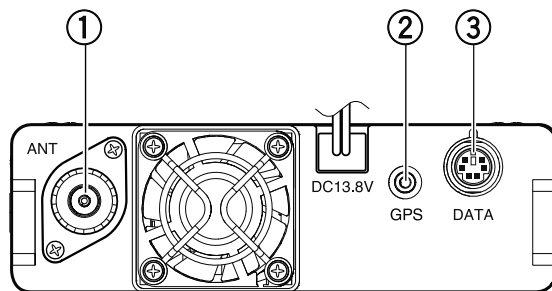
表示	説明
AP	APRS チャンネルが ON のときに表示します。
Grp 29	メモリーグループ番号を表示します。
TR	トレインチャンネルが ON のときに表示します。
★	メモリーチャンネルロックアウト機能が ON のときに表示します。
★R	レピータースキャンロックアウト機能が ON のときに表示します。
CCS	コールサインスケルチが ON のときに表示します。
DCS	コードスケルチが ON のときに表示します。
B	送信側：割り込み通信のときに表示します。 受信側：割り込み通信の受信で点滅します。
☐	自動応答機能のときに表示します。
📶→	DV/DR モードで GPS データを送信するときに表示します。
DATA	データ通信モードのときに表示します。 ファストデータ受信中に点滅します。
✕📶	パケットロスが発生したときに表示します。
MONI (グレー)	レピーターモニターが Off のときに表示します。
MONI	レピーターモニターが On の時に表示します。
M(🔊)	レピーターモニターでモニター音を受信中に表示します。
M(🔇)	レピーターモニターでモニター音をミュート中に表示します。

各部の名称と機能

表示	説明
	折り返しタイプの経由レピーターを表示します。
	アシストタイプの経由レピーターを表示します。
	ゲートウェイタイプの経由レピーターを表示します。
	ダイレクトリプライが可能なときに表示します。
DIRECT	ダイレクトモードのときに表示します。
TERM (緑)	リフレクターターミナルモードのときに表示します。
TERM (赤)	レピーターターミナルモードのときに表示します。
	TO(相手先名)に表示します。
	相手先と交信する際に使用するレピーターに表示します。

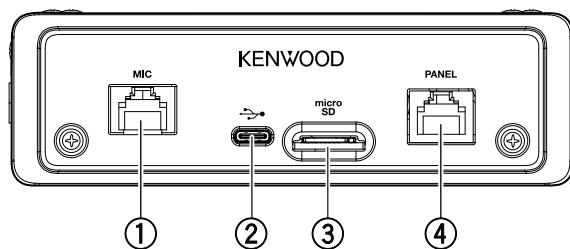
本体

背面



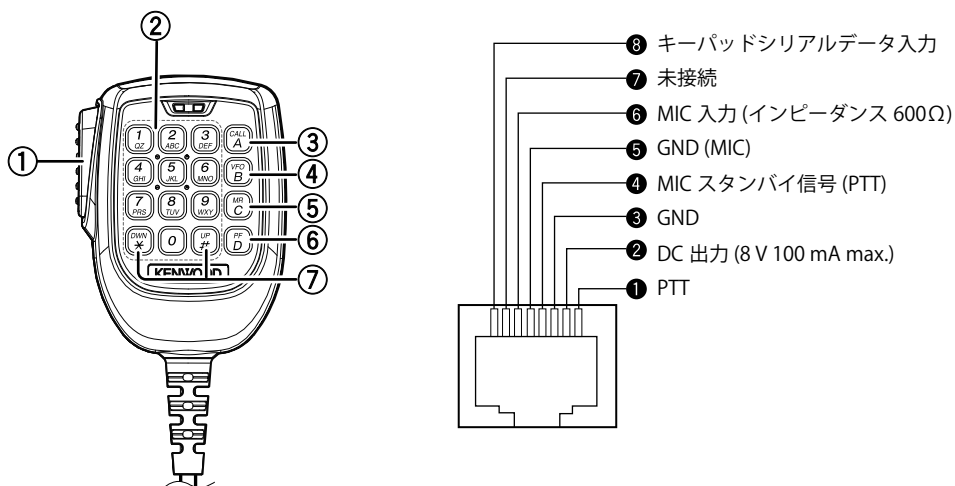
- ① **ANT 端子**
M 型コネクタでアンテナ(インピーダンス 50Ω)を接続します。
- ② **GPS コネクター**
外部 GPS レシーバーや気象観測装置の接続用端子です。
- ③ **DATA コネクター**
データ入出力端子です。PC と接続して EchoLink ノード局を運用したり、外部 TNC と接続して使用します。
「DATA コネクター」については取扱説明書を参照してください。

前面



- ① **MIC ジャック**
マイクロホンのプラグを接続します。
- ② **USB コネクター (USB Type-C™)**
本機と PC を市販の USB ケーブル (USB Type-C™)を使用して接続できます。
- ③ **microSD メモリーカードスロット**
microSD メモリーカードを取り付けて、設定データや録音データ、交信履歴などを保存できます。
- ④ **PANEL ジャック**
操作パネル接続用端子です。付属のパネルケーブルで接続します。

マイクロホン (MC-62)



- ① **[PTT]**
[PTT]を押したままでマイクに向かって話すと音声を送信できます。
- ② **DTMF キーパッド**
キーを押して、DTMF 信号の送信または、文字や周波数を入力します。メニュー No.の入力もできます。
- ③ **[CALL/A]**
操作パネルの[CALL]キーと同じ動作をします。PF4 キーとして機能を割り当てることができます。
- ④ **[VFO/B]**
操作パネルの[VFO]キーと同じ動作をします。PF3 キーとして機能を割り当てることができます。
- ⑤ **[MR/C]**
操作パネルの[MR]キーと同じ動作をします。PF2 キーとして機能を割り当てることができます。
- ⑥ **[PF/D]**
PF1 キーとして機能を割り当てることができます。お買い上げ時の設定では A バンドと B バンドを切り替えます。
- ⑦ **[UP/#]/[DWN/✱]**
操作パネルの[ENC]ツマミと同じく、周波数の切り替えや項目の選択ができます。

基本操作

電源を ON/OFF する

■ 電源を ON する

- 1 [⏻]を KENWOOD ロゴが表示されるまで長く押す
電源を ON すると、パワーオンメッセージが約 1 秒間表示されたあと、周波数表示になります。



■ 電源を OFF する

- 1 [⏻]を長く押す

内蔵時計の設定

本機の内蔵時計は、お買い上げ時の設定では GPS 機能により自動的に取得されます。電源を ON すると、しばらくして内蔵 GPS レシーバーが測位を開始し、ディスプレイ上部に「GPS を受信しました」と表示されます。

そのあと、GPS アイコン<📶>の表示が<🕒>に変わり、時刻や日付情報が自動的に設定されます。

GPS 衛星から電波を受信できない場合は、日付と時刻を手動で入力することができます。

- 1 メニュー No.950 を呼び出す
[MENU]を押してから、「本体設定」→「日時」→「設定」の順に選びます。
または、[MENU]を押してから、マイクロホンのキーパッドで[9][5][0]の順に押します。
 - メニューモードの操作については、「メニューモードの操作」(22 ページ)をご覧ください。
- 2 [UP/#]/[DWN/*]または[ENC]ツマミで項目を選択し、[◀]/[▶]でカーソルを移動する
「日付 (年/月/日)」および「時刻」を設定します。



- 3 [ENC]ツマミを押す
日付、時刻、タイムゾーンが設定されます。
- 4 [ESC]を押して周波数画面に戻る



◆ ディスプレイ上部に「GPS を受信しました」と表示されるのは、電源を ON、または GPS 機能を ON して最初に測位を開始したときのみです。

◆ 本機の GPS アイコンは、点滅はしません。

◆ カーバッテリーや安定化電源などからの電圧供給がない場合、日付、時刻の情報は内蔵リチウム電池により約 1 週間保持され、その後クリアされます。日付、時刻の情報がクリアされたあとに電源を ON し、内蔵 GPS レシーバーによる取得や手動設定をおこなわなかった場合は、下記のように初期値の日付、時刻に戻って内蔵時計が動作します。(初期値はファームウェアのアップデートにより変更される場合があります。)

日付：2026/01/01
時刻：00：00

NTP サーバー

NTP(Network Time Protocol)サーバーと自動で通信をおこない、本機の内蔵時計(日付と時刻)を補正します。

- 1 メニュー No.953 を呼び出して、自動時刻補正を ON にする
[MENU]を押してから、「本体設定」→「日時」→「NTP 補正実行」の順に選びます。
または、[MENU]を押してから、マイクロホンのキーパッドで[9][5][3]の順に押します。
 - メニューモードの操作については、「メニューモードの操作」(22 ページ)をご覧ください。次のタイミングで NTP サーバーと自動通信し、内蔵時計を補正します。
 - 電源を ON にしたとき
 - 電源を ON にしてから 24 時間ごと

音量を調節する

受信音の大きさを変えます。A/B バンドごとに音量を調整できます。

- 1 音量を調節する VFO 側の[BAND SEL]ツマミを回す
時計方向に回すと音量が大きくなり、反時計方向に回すと音量が小さくなります。
音声聞こえないとき(スケルチが閉じているとき)は、[MONITOR]が設定されている PF キーを押してモニター機能を ON にし、[BAND SEL A]または[BAND SEL B]を回してノイズの大きさを調整します(モニター)。
 - キー操作時などに鳴るピープ音の大きさを変えるには取扱説明書をご覧ください。

■ 設定例

APRS を併用する場合

A バンドで音声通話をする場合は、B バンドの音を小さくしたりミュートして運用する。

デュアルバンド/シングルバンドを選択する

動作させるバンドをデュアルバンドにするか、シングルバンドにするかを選びます。

デュアルバンドでは 2 つのバンドを同時に受信できます。シングルバンドでは動作しない方の表示は消え、音声も出なくなります。

- 1 操作バンド側の[BAND SEL A]または[BAND SEL B]を長く押す
[BAND SEL A]または[BAND SEL B]を長く押すごとにデュアルバンド、シングルバンドが切り替わります。



操作バンドを選択する

操作バンドと送信バンドを同時に選択したり分けたりすることができます。

操作バンド

周波数の変更、各種設定などの操作をするバンドを、Aバンド(上段)、Bバンド(下段)のどちらにするかを選びます。

送信バンド

マイクロホンの[PTT]を押したときに、送信するバンドを選びます。

操作バンドと送信バンドを同時に切り替える

操作バンドと送信バンドを同時に切り替えます。

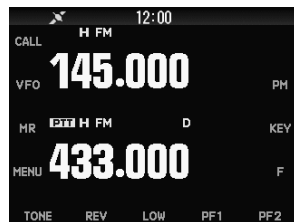
1 [BAND SEL A]または[BAND SEL B]を押す

[BAND SEL A]または[BAND SEL B]を押すごとに操作バンドおよび送信バンドが切り替わります。操作バンドには<[PTT]>が表示されます。

操作バンド：Aバンド
送信バンド：Aバンド



操作バンド：Bバンド
送信バンド：Bバンド



操作バンドだけを選択する

操作バンドだけを切り替えます。

周波数の変更、各種設定などの操作をするバンドを、Aバンド(上段)、Bバンド(下段)のどちらにするかを選びます。

1 [CTRL]を割り当てた PF キーを押す

PF キーを押すごとに操作バンドが切り替わります。操作バンドには<CTRL>が表示されます。

操作バンド：Aバンド
送信バンド：Bバンド



操作バンド：Bバンド
送信バンド：Aバンド



周波数帯を選択する

バンド A とバンド B の周波数帯を切り替えます。

1 [F]を押してから、[BAND SEL A]または[BAND SEL B]を押す

操作を繰り返すごとに操作バンドの周波数帯が切り替わります。

Aバンド

118→144→430→118 (MHz 帯)

Bバンド

118→144→VHF→200&300→430→UHF→118 (MHz 帯)



◆ お買い上げ時は[PF1]を押しても、操作バンドの周波数帯が切り替わります。

復調モードを選択する

復調モードを選びます。

1 [BAND SEL A]または[BAND SEL B]を押して操作バンドを選択する

2 [F]を押してから、[MODE]を押す

押すごとに、復調モードが切り替わります。

FM/NFM→DV(DR)→AM→FM/NFM



◆ FM/NFM モードおよび DV/DR モードは、[MODE] ボタンでは切り替えできません。

◆ DV/DR モードは、送信できる周波数帯のみ選択可能です。

周波数を変更する

交信するスタイルに応じて、VFO モード、メモリーチャンネルモード、CALL チャンネルモードの3つから選択します。

VFO モード

周波数を自由に設定できるモードです。

1 [VFO]を押して VFO モードにする

表示している周波数で受信します。

2 [UP/#]/[DWN/✱]または[ENC] ツマミを回して周波数を設定する

設定されているステップで周波数が変わります。



◆ あらかじめ設定されている周波数ステップは、変更することができません。取扱説明書をご覧ください。

MHz 単位で合わせる「MHz モード」

VFO モードまたは CALL モードを選んでから

1 [ENC] ツマミを押す

MHz モードになり、MHz の桁が点滅します。

2 [UP/#]/[DWN/✱]または[ENC] ツマミを回す

MHz 単位で周波数が変わります。

3 [ENC] ツマミを押す

MHz モードが終了します。

メモリーチャンネルモード

よく使う周波数はメモリーチャンネルに登録しておくと、すぐに呼び出せます。

1 [MR]を押してメモリーチャンネルモードにする

メモリーチャンネル番号がディスプレイに表示されます。



◆ メモリーが何も登録されていないときはメモリーチャンネルモードになりません。取扱説明書をご覧ください。

2 [UP/#]/[DWN/✱]または[ENC] ツマミを回して、メモリーチャンネルを選択する

[UP/#]または[ENC] ツマミを時計方向に回すとメモリーチャンネル番号の大きい方向を、[DWN/✱]または[ENC] ツマミを反時計方向に回すとメモリーチャンネル番号の小さい方向を呼び出します。

呼び出したいメモリーチャンネル番号を表示させます。元の周波数表示(VFO モード)に戻るには[VFO]を押します。

CALL チャンネルモード

CALL チャンネルは交信する相手局を探すときによく用いられる周波数です。各々のバンド毎に用意されています。

1 [CALL]を押してCALLチャンネルモードにする

- ディスプレイに「C」が表示されます。
- [CALL]をもう一度押すと前の周波数に戻ります。
- お買い上げ時の設定は下記のとおりです。

周波数帯(モード)	CALL チャンネル	メモリーネーム
VHF (DV/DR モード中以外)	145.00 MHz (FM)	Call VHF (FM)
VHF (DV/DR モード中)	145.30 MHz (DV)	Call VHF (DV)
UHF (DV/DR モード中以外)	433.00 MHz (FM)	Call UHF (FM)
UHF (DV/DR モード中)	433.30 MHz (DV)	Call UHF (DV)



- CALL チャンネル呼び出し時に[ENC]ツマミを回すと、CALL チャンネルの内容がVFOにコピーされて、VFOモードに切り替わり、周波数が[ENC]ツマミを回した方向に変わります。
- 145.00 MHz および 433.00 MHz の法令上の呼び出し周波数は、FM モードでのみ使用できます。DV モードでは使用できません。(令和5年総務省告示第80号備考8)
- 145.30 MHz および 433.30 MHz は、一般社団法人日本アマチュア無線連盟(JARL)が推奨するDVモードの呼び出し周波数です。

スケルチの調整

無信号状態の時に[SQL]ツマミを時計方向にまわし、ノイズが消える位置にスケルチレベルを設定します。スケルチレベルはAバンドとBバンドで別々に設定できます。

1 操作/バンド、周波数帯を選んでから[SQL]ツマミを回す

- 反時計方向にいっぱい回すとスケルチが開きます。スピーカーから交信中の音声聞こえる場合は、[ENC]ツマミを回して交信がおこなわれていない周波数に合わせてください。
- 時計方向に回し、雑音の消える位置に合わせてください。時計方向に回すほどスケルチが深くなります。



- [SQL]ツマミで雑音が消える位置は、雑音電波の強さや温度など、周囲の影響で変化します。
- スケルチにはSメータースケルチもあります。(メニューNo.103)
- [SQL]は時計方向に回すほど、弱い信号を受信できなくなります。
- スケルチが閉じているときに、[MONITOR]が設定されているPFキーを押すと、信号入力レベルに関係なくスケルチが開き受信信号の状態をモニターすることができます。もう一度押すと、通常のスケルチ状態に戻ります。

送信する

送信しようとする周波数をモニターし、他局に混信や妨害をあたえるおそれがないことを確認してください。また、近くの相手に送信するときは出力を下げてください。送信はFMモード、またはDVモードのみです。

1 送信したいバンドと周波数/チャンネルを選択する

2 マイクロホンの[PTT]を押したまま、マイクロホンに向かって話して送信する

押している間は送信バンド側にRFメーターが表示され、送信状態になります。

3 マイクロホンの[PTT]を離す

受信状態に戻ります。



- マイクロホンと口元の距離は5cmくらいが適当です。近づけすぎたり、離しすぎたりすると、受信している相手が聞き取りにくくなります。
- 設定された時間を超えて送信すると、タイムアウトタイマー機能により自動的に受信に戻ります。送信を続けるときは、一度[PTT]を離して、もう一度押し直してください。
- 受信周波数が、送信周波数の3倍のときなど、自局の送信信号が受信されることがあります。
例：送信周波数 145.000MHz、受信周波数 435.000MHz
- ダイレクトモード、リフレクターターミナルモード、レピーターターミナルモードで送信時はRFメーターは表示されません。
- 本機が高温を検出すると送信出力が低減したり、送信が禁止されることがあります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

送信出力を切り替える

1 出力を切り替えたいバンドと周波数/チャンネルを選択する

2 [LOW]を押して、H(ハイパワー)、M(ミディアムパワー)、L(ローパワー)を選択する

送信出力	TM-D750S	TM-D750
H	約 50 W	約 20 W
M	約 10 W	約 10 W
L	約 5 W	約 5 W



- 周波数帯ごとの送信出力設定はできません。
- AバンドとBバンドで別々に設定できます。

送受信できる周波数帯について

本機は、送信が144 MHz帯、430 MHz帯の2つの周波数帯(FM/DVのみ)、受信が118 MHz帯からUHF帯までの周波数帯で、3種類の復調モード(FM/AM/DV)でおこなえます。

送受信可能な周波数帯

	周波数帯	周波数範囲 (MHz)	お買い上げ時の設定			
			受信周波数 (MHz)	送信周波数 (MHz)	ステップ (kHz)	復調モード
Aバンド	118 MHz	108 ~ 136	118	—	25	AM
		136 ~ 144	145	—	20	FM
		144 ~ 146		145	20	
	144 MHz	146 ~ 174	433	—	20	FM
		410 ~ 430		—	20	
		430 ~ 440		433	20	
Bバンド	430 MHz	440 ~ 470	433	—	20	FM
		470 ~ 524		—	50	
		470 ~ 524		—	50	
	200&300 MHz	108 ~ 136	118	—	25	AM
		136 ~ 144	145	—	5	FM
		144 ~ 146		145	20	
		146 ~ 174		—	5	
		174 ~ 222	175.75	—	50	FM
		222 ~ 253	222	—	12.5	AM
		255 ~ 262				AM
		266 ~ 271				AM
		275 ~ 336				AM
		336 ~ 410				FM
	430 MHz	410 ~ 430	430	—	12.5	FM
		430 ~ 440		433	20	
		440 ~ 470		—	12.5	
	UHF	470 ~ 524	475.75	—	50	FM

送信は、アマチュアバンドの範囲内のみになります。

下記の周波数は受信できません。

周波数帯	周波数範囲 (MHz)
200&300 MHz	253.8 ~ 255、262 ~ 266、271 ~ 275、380.2 ~ 381.325
430 MHz	412 ~ 414.4

メニューモード

本機の多くの機能は、物理的な操作ではなくメニューから選択して設定できます。

メニューモードの操作

例) メニュー No.962「マイクキーロック」の ON/OFF を設定する。

1 [MENU]を押す

メニューモードになります。現在カーソルのあるアイコンがハイライト表示され、大項目の項目名が画面下に表示されます。

(例：送受信)

入力中のメニュー No.が画面右上に表示されます。



2 「本体設定」を選び、[ENC]ツマミを押す

メニュー No.9-が表示されます。

3 「ロック」を選び、[ENC]ツマミを押す

メニュー No.96-が表示されます。

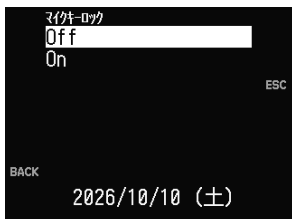
4 「マイクキーロック」を選び、[ENC]ツマミを押す

メニュー No.962「マイクキーロック」が呼び出されます。

手順2の時にマイクロホンのキーパッドで[9][6][2]の順に押しても呼び出せます。(ダイレクト呼び出し)

5 [UP/#]/[DWN/✱]または[ENC]ツマミで、[On]または[Off]を選択して[ENC]ツマミを押す

設定値が確定されます。



- ◆ 各操作の途中で[PTT]を押すと、変更中の設定を確定せずにメニューモードが終了します。
- ◆ 各操作の途中で[BACK]を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。また、操作3のときに押すと、選択中の設定値は破棄されて前の操作に戻ります。
- ◆ スキャン中に[MENU]を押すとスキャンは解除されます。

文字入力のしかた

メモリーネームやパワーオンメッセージなど、文字入力が必要な画面では、マイクロホンのキーパッドを使って携帯電話のように入力する方法と、[ENC]ツマミで順送りして選択し入力する方法があります。入力可能な文字/記号は、次ページの表をご覧ください。

マイクロホンのキーパッドで入力する

1 [0]～[9]、[DWN/✱]、[UP/#]で文字を入力する

各キーを押すごとに入力できる文字が変わります。同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合は[MR/C]でカーソルを次に移動([VFO/B]で前に戻る)してから次の文字を入力します。

[CALL/A]を押すとカーソルがある文字を削除します。カーソル位置が最後の文字位置になると以降はバックスペース動作となります。

本体の[あ(文字種)]を押すと入力モードが切り替わります。

[UP/#]を押すと入力モードごとに記号が入力できます。

[DWN/✱]を押すと入力した文字の大文字小文字の切り替え、および濁点、半濁点の切り替えができます。

[VFO/B]/[MR/C]を押すとカーソルが移動します。カーソル位置が入力文字列の最後のときは、自動的に空白文字(半角スペース)が入力されます。

例) パワーオンメッセージの入力(メニュー No.902)



2 [MR/C]を押す

選択中の文字で確定しカーソルを次に移動します。

3 [PF/D]を押す

入力した内容が確定します。

カーソルシフト

マイクロホンのキーパッドを使用した文字入力を補助する機能です。一定の時間が経過すると自動的にカーソルを右に移動するので、同じキーを使用した文字を続けて入力するような場合に便利にお使いいただけます。

カーソルが移動するまでの時間をお好みで設定できます。

1 [MENU]を押す

2 「本体設定」を選び、[ENC]ツマミを押す

メニュー No.9-が表示されます。

3 「補助機能」を選び、[ENC]ツマミを押す

メニュー No.94-が表示されます。

4 「カーソルシフト」を選び、[ENC]ツマミを押す

メニュー No.947「カーソルシフト」が呼び出されます。

5 「Off」「1.0」「1.5」「2.0」(sec)の中から選択し、[ENC]ツマミを押す

[ENC]ツマミで入力

- 1 [ENC]ツマミで入力したい文字を表示させる
- 2 [▶]を押す
文字/記号が入力されカーソルが右に移動します。
[CLEAR]を押すと選択しているカーソルの文字が消去されます。文字のないカーソルで[CLEAR]を押すと、カーソルが左に移動します。

記号/区点コードについて

- 1 文字入力画面で[!/?]/[区点]を押す
[!/?]を押すと記号選択画面、[区点]を押すと区点コード入力画面が表示されます。



記号選択画面



区点コード入力画面

- 2 [UP/#]/[DWN/※][▲]/[▼]/[◀]/[▶]または[ENC]ツマミで入力したい文字を選択する
区点コード入力画面では4桁の数字を入力してください。
- 3 [PF/D]または[ENC]ツマミを押す
文字が入力され文字入力画面に戻ります。

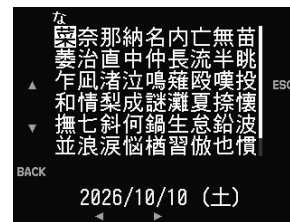
漢字入力

本機はメモリーネームやメッセージなどで漢字を入力することができます。

- 1 入力したい漢字のひらがなを入力する



- 2 [あ(文字種)]を押す
その文字から始まる漢字リストが表示されます。[ESC]を押すと元の画面に戻ります。



- 3 [UP/#]/[DWN/※][▲]/[▼][◀]/[▶]または[ENC]で入力したい漢字を選択する
- 4 [PF/D]または[ENC]ツマミを押す
漢字が入力され文字入力画面に戻ります。
- 5 操作1～4を繰り返して漢字を入力する
- 6 [PF/D]または[ENC]ツマミを押す
文字入力画面が終了して前の画面に戻ります。

入力モードの切り替えで選択できる文字一覧

入力モード	入力可能な文字一覧
あ(ひらがな)	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよりるれろわをんあいうえおつやゆよわがぎぐげござじずぜぞぢづでどばびぶべばびぶべぼあゑ。?!・ー(SP)
カ(全角カタカナ)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンアイウエオツヤユヨワカケガギグゲゴザジズゼゾダヂツデドバビブベボパピプペポヴキエ、。?!・ー(SP)
A(全角英数)	.. ? ! _ - @ 0123456789 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (SP)
カ(半角カタカナ)	(SP).「」・ヲアイエオヤエツァイウエオカキクケコサシスセソタチツテナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲ
A(半角英数)	(SP)!"#\$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefg hijklmnopqrstuvwxyz{ }~
漢	JIS 第一水準の漢字
記号	PC のキーボードから入力できる記号
区点コード	JIS 第二水準の漢字 (JIS 区点コードを利用して、文字(漢字など)や記号を入力できます。)



◆ 入力項目によって、選択候補に現れる文字が制限されることがあります。

メニュー一覧

No.	ディスプレイ表示	機能	選択肢
送受信 - 受信			
100	ブロードバンドVFO	VFOの周波数可変範囲の設定 (Aバンドのみ)	周波数帯による
101	ビートシフト	ビートシフト	タイプ1～タイプ8
102	FMノイズ	FMモードの帯域をナローに切り替える	Off/ On
103	Sメータスケール	Sメータスケール	Off/ On
104	SM SQLハンガアップタイム	SM SQL ハングアップタイム	Off/ 125/ 250/ 500 [ms]
105	ミュートハンガアップタイム	ミュートハンガアップタイム	Off/ 125/ 250/ 500/ 750/ 1000 [ms]
106	MONITORタイプ	モニタータイプ	SQL Off/ CTCSS/DCS Off
送受信 - 送信			
110	送信禁止	送信禁止	Off/ On
111	タイムアウトタイマー	タイムアウトタイマー	0.5/ 1.0/ 1.5/ 2.0/ 2.5/ 3.0/ 3.5/ 4.0/ 4.5/ 5.0/ 10.0 [min]
112	マイク感度	マイク感度	高/ 標準/ 低
113	送信状態告知	送信状態告知	Off/ On
送受信 - 受信フィルター			
120	AMハイカット	AM ハイカット	3.0/ 4.5/ 6.0/ 7.5 [kHz]
送受信 - スキャン			
130	再開条件	スキャン再開条件	タイム/ キャリア/ シーク
131	再開条件 (デジタル)	スキャン再開条件 (デジタル)	タイム/ キャリア/ シーク
132	タイムオペレート再開	タイムオペレート再開時間の設定	1～5～10 [sec]
133	キャリアオペレート再開	キャリアオペレート再開時間の設定	1～2～10 [sec]
134	プライオリティスキャン	プライオリティスキャン	Off/ On
135	スキャンオートバックライト	スキャンオートバックライト	Off/ On
136	ビジュアルスキャン	ビジュアルスキャンモード	Mode1: 17 ch/ Mode2: 33 ch/ Mode3: 57 ch/ Mode4: 115 ch
送受信 - レピーター			
140	オフセット周波数	オフセット幅の設定	周波数帯による
141	オートオフセット	オートレピーターオフセット	Off/ On
142	1750Hz 送信保持	1750Hz 送信保持	Off/ On
送受信 - VOX			
150	VOX	VOX	Off/ On (AF)/ On (Data)
151	ゲイン	VOX ゲイン	0～4～9
152	ディレイ	VOX ディレイタイム	250/ 500/ 750/ 1000/ 1500/ 2000/ 3000 [ms]
153	ビジー時送信	ビジー中の VOX 送信	禁止/ 許可
送受信 - DTMF			
160	送出スピード	DTMF メモリーの送出スピード設定	50/ 100/ 150 [ms]
161	ポーズ時間	DTMF ポーズ時間の設定	100/ 250/ 500/ 750/ 1000/ 1500/ 2000 [ms]
162	送信保持	DTMF 送信 2 秒出力保持	Off/ On
163	DTMFメモリー	DTMF メモリー	最大 10 チャンネルの DTMF メモリーチャンネル 最大 16 (全角 8) 桁の DTMF メモリーネーム 最大 16 桁の DTMF メモリーコード
164	EchoLinkメモリー	EchoLink メモリー	最大 10 チャンネルの EchoLink メモリーチャンネル 最大 8 桁の EchoLink メモリーネーム 最大 8 桁の EchoLink メモリーコード
送受信 - その他			
170	QSOログ	QSO ログ (交信履歴) の保存	Off/ On
メモリー - メモリーチャンネル			
200	リスト表示	メモリーチャンネルリスト表示	説明参照
201	グループネーム	グループネーム	半角 16 文字、全角 8 文字
202	呼び出し方法	メモリーの呼び出し方法	全バンド/ バンド内
203	グループリンク	メモリーグループリンク	最大 30 のグループリンク
204	CALLチャンネルリスト	CALL チャンネルリスト表示	説明参照
メモリー - レピーターリスト			
210	リスト表示	レピーターリスト表示	—

No.	ディスプレイ表示	機能	選択肢
メモリー - コールサインリスト			
220	リスト表示	コールサインリスト表示	—
メモリー - ホットスポットリスト			
230	リスト表示	ホットスポットリスト表示	—
メモリー - PM			
240	PM 自動書き込み	PM 自動書き込み	Off/ On
オーディオファイル - 録音ファイル			
300	リスト表示	録音ファイルリスト表示	—
301	録音	録音	停止/ 開始
302	録音対象バンド	録音対象バンド切り替え	A バンド/ B バンド/ A/B バンド
303	録音ファイル分割	録音ファイル分割	連続/ 分割
オーディオファイル - ボイスメッセージ			
310	リスト表示	オーディオファイルリスト表示	説明参照
311	送信モニター	送信モニター	Off/ On
312	デジタル自動応答	デジタル自動応答	説明参照
GPS - 基本設定			
400	内蔵 GPS	内蔵 GPS	Off/ On
401	自局位置	自局位置	GPS/ My Position 1 ~ My Position 5
402	自局位置あいまい	自局位置あいまい設定	Off/ 1 桁 ~ 4 桁
403	PC 出力	GPS データ PC 出力	Off/ On
404	衛星情報出力	衛星情報出力	GPS/ GPS/QZSS/Galileo
405	センテンス	NMEA センテンス	GGA/ GLL/ GSA/ GSV/ RMC/ VTG
406	SBAS	SBAS	Off/ On
GPS - 軌跡ログ			
410	軌跡ログ	軌跡ログ	Off/ On
411	軌跡ログ 消去	軌跡ログの消去	—
412	記録方法	軌跡ログの記録方法	時間/ 距離/ ビーコン
413	インターバル	軌跡ログのインターバル	2 ~ 10 ~ 1800 [sec]
414	距離	軌跡ログの距離	0.01 ~ 9.99 [km]
GPS - GPS 端子			
420	ボーレート	GPS 端子のボーレート	2400/ 4800/ 9600 [bps]
421	入力	GPS 入力設定	Off/ GPS/ Weather (Davis)/ Weather (PeetBros.)
422	出力	GPS 出力設定	Off/ Waypoint/ DGPS
APRS - 基本設定			
500	自局コールサイン	自局コールサイン登録	最大 9 文字
501	アイコン	自局アイコン	Car/ Person/ Bicycle/ Motorcycle/ Bus など計 68 種類
502	ポジションコメント	ポジションコメント	Off Duty/ Enroute/ In Service/ Returning/ Committed/ Special/ PRIORITY/ CUSTOM0~CUSTOM6/ EMERGENCY!
503	ステータステキスト	ステータステキスト	ステータステキスト：1 ~ 5 送信頻度：Off, 1/1 ~ 1/4 ~ 1/8 テキスト：最大 42 文字
504	パケットパス	パケット中継経路	タイプ：New-N/ Relay/ Region/ Others1 ~ Others3 WIDE1-1：Off/ On, RELAY：Off/ On, ABBR：最大 5 文字 中継段数：0 ~ 1 ~ 7, PATH：最大 79 文字
505	データ通信のスピード	データ通信のスピード	1200 bps/ 9600 bps
506	データ通信のバンド	データ通信をおこなうバンド	A バンド/ B バンド
507	周波数自動設定	周波数自動設定	Off/ On
508	DCD センスタイプ	DCD センスタイプ	ビジー/ データ検出/ Off (無視)
509	TX デレイ	APRS データ送信の遅延時間	100/ 150/ 200/ 300/ 400/ 500/ 750/ 1000 [ms]
50A	APRS ロック	APRS ロック	周波数/ PTT/ APRS キー
APRS - ビーコン送信制御			
510	送信方法	送信方法	マニュアル/ PTT/ オート/ SmartBeaconing
511	自動送信間隔	自動送信間隔時間	0.2/ 0.5/ 1/ 2/ 3/ 5/ 10/ 20/ 30/ 60 [min]
512	ディケイタイムアウト	送信間隔自動延長	Off/ On
513	ブロードキャストパス	中継経路自動切替	Off/ On

No.	ディスプレイ表示	機能	選択肢
514	速度出力	速度出力	Off/ On
515	高度出力	高度出力	Off/ On
516	オブジェクト	オブジェクト送信設定	オブジェクト 1 ～ オブジェクト 3 ネーム：最大 9 文字, タイプ：Live Object/ Killed Object/ Live Item/ Killed Item, 送信方法：Off/ 一時的/ 自動 (15min)/ 自動 (30min)/ 自動 (60min), N (S)：緯度, E (W)：経度, アイコン：Eyeball/ Portable (Tent)/ HAMStore など計 68 種類, コメント：最大 42 文字
517	気象データ出力	気象データ出力	Off/ On
518	気象データ送信間隔	気象データ送信間隔	5/ 10/ 30/ 60 [min]
APRS - QSY 情報			
520	QSY 情報付加	QSY 情報付加	Off/ On
521	トーン/ナロー	トーン/ナロー	Off/ On
522	シフト/オフセット	シフト/オフセット	Off/ On
523	QSY 情報制限距離	QSY 情報制限距離	Off/ 10/ 20/ …2490/2500 [km]
APRS - SmartBeaconing			
530	低速/高速速度	低速/高速速度	低速速度: 2 ～ 5 ～ 30 [km/h] 高速速度: 2 ～ 70 ～ 90 [km/h]
531	低速時送信間隔	低速時の送信間隔	1 ～ 30 ～ 100 [min]
532	高速時送信間隔	高速時の送信間隔	10 ～ 120 ～ 180 [sec]
533	回転角度	回転角度	5 ～ 28 ～ 90 [deg]
534	回転傾斜	回転傾斜	1 ～ 26 ～ 255 [10deg/speed]
535	回転時間	回転時間	5 ～ 60 ～ 180 [sec]
APRS - ウェイポイント			
540	フォーマット	ウェイポイントの形式	NMEA/ MAGELLAN/ KENWOOD
541	桁数	ウェイポイントの桁数	6 文字/ 7 文字/ 8 文字/ 9 文字
542	出力	ウェイポイント出力データの選択	全て/ ローカル/ フィルター
APRS - パケットフィルター			
550	受信範囲制限	データの受信範囲制限	Off/ 10/ 20/ …2490/ 2500 [km]
551	フィルタータイプ	フィルタータイプ	気象/ デジピーター/ 移動/ オブジェクト/ アイテム/ ナビトラ/ 1-Way/ その他
APRS - メッセージ			
560	定型文の編集	定型文の編集	最大 32 文字 x20 種類
561	自動応答	自動応答メッセージの設定	Off/ On
562	自動応答先	自動応答メッセージの応答先	最大 9 文字
563	自動応答待ち時間	自動応答メッセージの応答待ち時間	0/ 10/ 20/ 30/ 60 [sec]
564	自動応答メッセージ	自動応答メッセージの登録	最大 50 文字
APRS - 通知			
570	受信ビープ	受信ビープ音設定	Off/ メッセージのみ/ 自局宛/ 新規/ 全て
571	送信ビープ	送信ビープ音設定	Off/ On
572	スペシャルコール	スペシャルコール	最大 9 文字
573	受信通知表示領域	受信通知表示領域	常時全画面/ 全画面/ 1 行
574	受信通知表示時間	受信通知表示時間	3/ 5/ 10/ 20/ 30/ 60 [sec]/ 無限
575	APRSコール	受信局のコールサインを発声する	Off/ On
APRS - Digipeat			
580	Digipeat (My Call)	デジピーター設定	Off/ On
581	UIcheck	受信 UI フレーム中継設定	0 ～ 28 ～ 250 [sec]
582	UIDigipeat	UI デジピート設定	Off/ On
583	UIDigi Aliases	Aliases の文字列設定	最大 9 文字×4 コード
584	UIflood	UIflood デジピート設定	Off/ On
585	UIflood Alias	UIflood での Alias の文字列設定	最大 5 文字
586	UIfloodSubstitution	UIflood での Substitution 設定	First/ ID/ NOID
587	Ultrace	Ultrace デジピート設定	Off/ On
588	Ultrace Alias	Ultrace での Alias の文字列設定	最大 5 文字

メニューモード

No.	ディスプレイ表示	機能	選択肢
APRS - その他			
590	PC 出力	PC 出力	Off/ パケット/ ウェイポイント
591	ネットワーク	ネットワーク設定	APRS (APK103)/ Altnet
592	ボイスアラート	ボイスアラート	Off/ On/ 受信のみ
593	ボイスアラート周波数	ボイスアラート周波数	67.0 ~ 100.0 ~ 254.1 [Hz]
594	メッセージグループコード	メッセージグループコード	最大 9 文字×6 コード (ALL, QST, CQ, KWD)
595	ブリディンググループコード	ブリディンググループコード	最大 5 文字×6 コード
デジタル-受信履歴			
600	履歴表示	受信履歴表示	—
デジタル-送受信			
610	自局コールサイン	自局コールサイン登録 (DV/DR モード用)	8 桁(コールサイン) + 4 桁(識別コード) × 6 パターン
611	送信メッセージ	送信メッセージの編集と選択	Off/ 1 ~ 5
612	ダイレクトリプライ	ダイレクトリプライ設定	Off/ On
613	自動応答タイミング	自動応答タイミング	即時/ 5/ 10/ 20/ 30/ 60 [sec]
614	データ送信終了タイミング	データ送信終了タイミング	Off/ 0.5/ 1/ 1.5/ 2 [sec]
615	EMR 音量	EMR 音量	レベル 1 ~ レベル 25 ~ レベル 50
616	受信 AFC	受信 AFC	Off/ On
617	DV 時 FM 自動検出	DV 時 FM 自動検出	Off/ On
618	データフレーム出力	データフレーム出力	全て/ デジタルスケルチ連動/ データ通信モード
619	割り込み通話	割り込み通話	Off/ On
61A	自動応答	自動応答	Off/ On/On(音声)
デジタル-デジタルスケルチ			
620	タイプ選択	タイプ選択	Off/ コードスケルチ/ コールサインスケルチ
621	デジタルコード	デジタルコード	00 ~ 99
デジタル-GPSデータ送信			
630	GPS 情報付加	GPS 情報付加	Off/ On
631	センテンス	NMEA センテンス	GGA/ GLL/ GSA/ GSV/ RMC/ VTG/ APRS センテンス
632	自動送信	自動送信間隔時間	Off/ 0.2/ 0.5/ 1/ 2/ 3/ 5/ 10/ 20/ 30/ 60 [min]
デジタル-受信通知			
640	表示方法	受信割り込み表示方法	Off/ 全て/ デジタルスケルチ連動/ 自局宛
641	シングル表示サイズ	受信割り込み表示サイズ (シングル)	半画面/ 全画面
642	デュアル表示サイズ	受信割り込み表示サイズ (デュアル)	半画面/ 全画面
643	表示保持時間	受信割り込み表示保持時間	0/ 3/ 5/ 10/ 20/ 30/ 60 [sec]/ 無限
644	コールサイン発声	コールサインやカーチャングの状態を発声	Off/ カーチャング/ カーチャング以外/ 自局宛/ 全て
645	スタンバイビープ	スタンバイビープ	Off/ On
デジタル-DVゲートウェイ			
650	DVゲートウェイモード	DV ゲートウェイモードの設定	Off/ ダイレクトモード/ ターミナルモード
651	自局コールサイン	自局コールサイン登録 (DV ゲートウェイモード用)	最大 8 文字のコールサイン+最大 4 文字の識別コードを 6 パターン
デジタル-ダイレクトモード			
660	ゲートウェイコールサイン	ゲートウェイコールサイン登録	最大 8 文字
661	管理サーバー	管理サーバーの URL	trust.d-star.info
662	ゲートウェイ種別	ゲートウェイ種別	海外/ 日本
663	UDPホールパンチ	UDP ホールパンチ	Off/ On
664	リフレクターホスト	リフレクターホスト	自動更新/ SD カード
デジタル-ターミナルモード			
670	ターミナルモード選択	ターミナルモード選択	リフレクターターミナルモード/ レピーターターミナルモード
671	RPT1	RPT1 (DV ゲートウェイモード用) の設定	最大 8 文字
672	RPT2	RPT2 (DV ゲートウェイモード用) の設定	最大 8 文字
673	デバイス情報	NAME 設定	—

No.	ディスプレイ表示	機能	選択肢
デジタルレピーターモニター			
680	レピーターモニタータイマー	レピーターモニタータイマー	10/ 20/ 30/ 60 [min]
681	海外レピーターホスト	海外レピーターホスト	自動更新/ SD カード
IPネットワーク - 基本設定			
700	DHCP	DHCP	Off/ On
701	IPアドレス	IP アドレス	1.0.0.0 ~ 192.168.0.1 ~ 223.255.255.255
702	サブネットマスク	サブネットマスク	0.0.0.0 ~ 255.255.255.0 ~ 255.255.255.252
703	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	1.0.0.0 ~ 223.255.255.255
704	プライマリDNSサーバー	プライマリ DNS サーバー	1.0.0.0 ~ 223.255.255.255
705	セカンダリDNSサーバー	セカンダリ DNS サーバー	1.0.0.0 ~ 223.255.255.255
706	MACアドレス	MAC アドレス	無線機ごとの固有の値
IPネットワーク - WLAN			
710	WLAN	WLAN	Off/ On
711	アクセスポイントリスト	アクセスポイントリスト	—
SDカード - エクスポート			
800	設定データ	設定データの書き出し	—
801	設定データ+ボイスメッセージ	設定データ+ボイスメッセージの書き出し	—
802	レピーターリストのみ	レピーターリストの書き出し	—
803	コールサインリストのみ	コールサインリストの書き出し	—
804	ホットスポットリストのみ	ホットスポットリストの書き出し	—
SDカード - インポート			
810	設定データ	設定データの読み込み	—
811	設定データ+ボイスメッセージ	設定データ+ボイスメッセージの読み込み	—
812	レピーターリストのみ	レピーターリストの読み込み	—
813	コールサインリストのみ	コールサインリストの読み込み	—
814	ホットスポットリストのみ	ホットスポットリストの読み込み	—
SDカード - アンマウント (取り外し)			
820	本体	アンマウント実行 (本体)	—
821	操作パネル	アンマウント実行 (操作パネル)	—
SDカード - フォーマット (初期化)			
830	本体	フォーマット実行 (本体)	—
831	操作パネル	フォーマット実行 (操作パネル)	—
SDカード - メモリサイズ			
840	本体	microSD メモリーカードの空き容量を確認する (本体)	—
841	操作パネル	microSD メモリーカードの空き容量を確認する (操作パネル)	—
SDカード - 基本設定			
850	SDカードスロット選択	microSD メモリーカードスロット選択	本体/ 操作パネル
本体設定 - ディスプレイ			
900	LCD 輝度	LCD 輝度設定	レベル 1 ~ レベル 8
901	オートブライトネス	オートブライトネス	Off/ On
902	パワーオンメッセージ	パワーオンメッセージの編集	全角最大 8 文字、半角最大 16 文字
903	シングルバンド表示	シングルバンド表示設定	Off/ GPS/ 日付/ 復調モード
904	メータータイプ	メータータイプ設定	タイプ 1 ~ タイプ 3
905	背景色	背景色の設定	黒/ 白
906	通知バックライト	通知バックライトの設定	Off/ On
本体設定 - オーディオ			
910	送信/受信イコライザー	送信/受信イコライザー設定	RX イコライザー/ TX イコライザー (FM,NFM)/ TX イコライザー (DV)
911	送信イコライザーレベル	送信イコライザーレベル設定	0.4 kHz (-9 ~ +3 [dB])/ 0.8 kHz (-9 ~ +3 [dB])/ 1.6 kHz (-9 ~ +3 [dB])/ 3.2 kHz (-9 ~ +3 [dB])
912	受信イコライザーレベル	受信イコライザーレベル設定	0.4 kHz (-9 ~ +9 [dB])/ 0.8 kHz (-9 ~ +9 [dB])/ 1.6 kHz (-9 ~ +9 [dB])/ 3.2 kHz (-9 ~ +9 [dB])/ 6.4 kHz (-9 ~ +9 [dB])

メニューモード

No.	ディスプレイ表示	機能	選択肢
913	USBオーディオ出力レベル	USB オーディオ出力レベル調整	レベル 1 ～ レベル 7
914	外部スピーカー	外部スピーカー	モード 1/ モード 2
基本設定 - アクセリビリティ			
920	ビープ	ビープ音設定	Off/ On
921	ビープ音量	ビープ音量調整	レベル 1 ～ レベル 5 ～ レベル 7
922	ボイスガイダンス	ボイスガイダンス設定	Off/ マニュアル/ オート 1/ オート 2
923	ボイスガイダンス音量	ボイスガイダンス音量調整	レベル 1 ～ レベル 5 ～ レベル 7
924	ボイスガイダンススピード	ボイスガイダンスの発声速度設定	スピード 1 ～ スピード 4
925	コールサイン読み上げ方法	コールサインに含まれるアルファベットの発声方法の設定	標準/ フォネティックス (Full)/ フォネティックス (Suffix)
本体設定 - Bluetooth			
930	Bluetooth	Bluetooth 設定	Off/ On
931	接続	デバイスの接続	—
932	デバイス検索	デバイスの検索	—
933	切断	デバイスの切断	—
934	ペアリング待ち受け	ペアリング待ち受け	—
935	デバイス情報	無線機内蔵デバイスの情報	デバイス名：最大 19 文字
936	自動接続	デバイス自動接続	Off/ On
本体設定 - 補助機能			
940	PF1キー	PF1 キーの登録	録音 → ボイスメッセージ 1 ～ 4 → ボイスガイダンス設定 → VOICE → グループネーム → GPS → 軌跡ログ → SHIFT → STEP → LOW → キーロック → ロックアウト → M>V → T.SEL → NEW → ボイスアラート → LCD 輝度 → LCD Off → DTMF CH0 → EchoLink CH0 → 1750Hz トーン → BAND (PF1) → CTRL (PF2) → MONITOR → GRP.UP → MENU → MUTE → DUAL
941	PF2キー	PF2 キーの登録	
942	Power Key	Power Key	Power Key/ Power Key + Voice
943	PF1 (マイク)	マイクロホン PF1 キーの登録	録音 → ボイスメッセージ 1 ～ 4 → ボイスガイダンス設定 → VOICE → グループネーム → GPS → 軌跡ログ → SHIFT → STEP → LOW → キーロック → ロックアウト → M>V → T.SEL → NEW → ボイスアラート → LCD 輝度 → LCD Off → DTMF CH0 → EchoLink CH0 → 1750Hz トーン → BAND → CTRL → MONITOR → GRP.UP → MENU → MUTE → DUAL → 画面キャプチャー → MODE → A/B (PF1マイク) → VFO (PF3マイク) → MR (PF2マイク) → CALL (PF4マイク) → MSG → LIST → BCON → REV → TONE → MHz → MARK → APRS → OBJ → ATT → POS → LOCK → ENTER → REPLY → P.MONI → WXi
944	PF2 (マイク)	マイクロホン PF2 キーの登録	
945	PF3 (マイク)	マイクロホン PF3 キーの登録	
946	PF4 (マイク)	マイクロホン PF4 キーの登録	
947	カーソルシフト	カーソルシフト	Off/1.0/ 1.5/ 2.0 [sec]
本体設定 - 日時			
950	設定	日付・時刻・タイムゾーン設定	—
951	NTP 自動補正	NTP サーバーによる日時の自動補正	Off/ On
952	NTPサーバーアドレス	NTP サーバーアドレス	ntp.nict.jp
953	NTP 補正実行	NTP 補正を実行	—
本体設定 - ロック			
960	キーロックタイプ	キーロックタイプ	キーロック/ 周波数ロック
961	DTMFキーロック	DTMF キーロック	Off/ On
962	マイクキーロック	マイクキーロック	Off/ On
本体設定 - 単位			
970	速度, 距離	速度, 距離単位	mi/h, mile/ km/h, km/ knots, nm
971	高度, 雨量	高度, 雨量単位	feet, inch/ m, mm
972	気温	気温単位	° F/ ° C
973	緯度, 経度	緯度, 経度単位	dd ° mm.mm' / dd ° mm' ss.s"
974	グリッド スキアフォーマット	グリッドスクエアフォーマット	Maidenhead Grid/ SAR Grid (CONV)/ SAR Grid (CELL)
本体設定 - インターフェース			
980	USB 機能選択	USB 端子の機能を選択する	COM+AF 入出力/ マスストレージ
981	USBオーディオ入出力選択	USB オーディオ入出力の選択	Off/ AF/ 外部データ

メニューモード

No.	ディスプレイ表示	機能	選択肢
982	PC 出力：GPS	PC 出力 (内蔵 GPS の NMEA センテンス)	USB (本体) / USB (操作パネル) / Bluetooth
983	PC 出力：APRS	PC 出力 (APRS モードでのパケットデータ)	USB (本体) / USB (操作パネル) / Bluetooth
984	PC 入出力：KISS	PC 入出力 (KISS モードでのパケットデータ)	USB (本体) / USB (操作パネル) / Bluetooth
985	PC 入出力：DV/DR	PC 入出力 (DV/DR モードでの送受信データ)	USB (本体) / USB (操作パネル) / Bluetooth
986	PC 入出力：DV Gateway	PC 入出力 (DV ゲートウェイモードでの送受信データ)	USB (本体) / USB (操作パネル) / Bluetooth
987	外部データバンド	外部データバンド	A バンド/ B バンド
988	外部データスピード	外部データスピード	1200bps/ 9600bps
989	SQLC 出力条件	SQLC 出力条件	Off/ Busy/ SQL/ TX/ Busy or TX/ SQL or TX
本体設定 - システム			
990	言語	言語設定	英語/ 日本語
991	APO: オートパワーオフ	オートパワーオフ	Off/ 30/ 60/ 90/ 120/ 180 [min]
992	バージョン	ファームウェアバージョン表示	—
993	ソフトウェア利用許諾契約	ソフトウェア利用許諾契約表示	—
994	重要なお知らせ	重要なお知らせ	—
999	リセット	リセット	VFO リセット/ パーシャルリセット/ PM リセット/ フルリセット



- ◆ メニューの内容 (機能や初期値) については、技術開発に伴い予告なしに変更することがあります。
- ◆ 「選択肢」欄の太文字は、お買い上げ時の設定です。
- ◆ メニューの 300 番台 (オーディオファイル) および 800 番台 (SD カード) は、本機に microSD メモリーカードが挿入されているときのみ使用できます。

リセット

説明書どおりにうまく働かなくなったときや、キーを押しても反応しないときは、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の内容をお確かめください。

それでもうまく働かない場合は、リセットをおこなってみてください。リセットをすると、周波数や各機能の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。リセットには下記の4種類があり、操作は2つの方法があります。

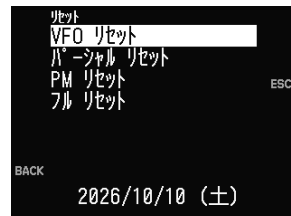
- | | |
|-----------|---|
| VFO リセット | : VFO および付随する設定を初期化するために使用します。 |
| パーシャルリセット | : メモリーチャンネルと DTMF メモリーチャンネル、レピーターリスト、ホットスポットリスト、日付と時刻以外のすべての設定を初期化するために使用します。 |
| PM リセット | : PM(プログラマブルメモリー)の内容のみ初期化されます。 |
| フルリセット | : カスタマイズしたトランシーバーの設定をすべて初期化します。(レピーターリスト、ホットスポットリスト、日付と時刻はリセットされません。) |

キー操作によるリセット

電源が OFF の状態から

1 [F]と[⏻]電源スイッチを約 10 秒間、指を離さずに同時に押し続ける

KENWOOD ロゴと画像が表示されたあと、さらに押し続けていると起動音が鳴り、リセット画面が表示されます。リセット画面が表示されたら、指を離してください。



2 「VFO リセット」、「パーシャルリセット」、「PM リセット」または「フルリセット」を選択する

3 [ENC]ツマミを押す

ディスプレイに確認メッセージが表示されます。

4 [OK]を押す

リセットを実行して、本機が再起動します。

メニューモードによるリセット

1 メニュー No.999 を呼び出す

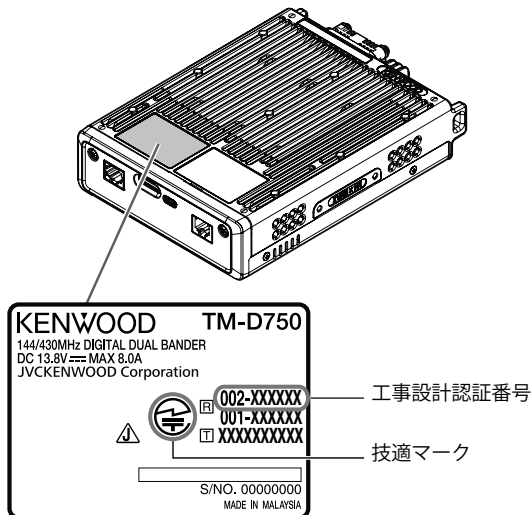
「VFO リセット」、「パーシャルリセット」、「PM リセット」または「フルリセット」から選択します。



◆ フルリセットをしたあとにメニューモードを起動することなくボイスガイダンスを[オート 1]に設定するには、電源 OFF の状態から[CALL]と[⏻]電源スイッチを約 10 秒間、指を離さずに同時に押し続け、KENWOOD ロゴと画像が表示されたあとに「ピピッ」と音が鳴ったら指を離してください。

免許手続について

本機の本体底面に貼り付けられている機種銘板には、技適マークと本機の工事設計認証番号が記載されています。本機を改造せずにそのまま使用する場合は、適合表示無線設備として手続をします。手続の際には、本機の"002"ではじまる工事設計認証番号を記入します。"001"ではじまる番号は、Bluetooth 及び無線 LAN の工事設計認証番号です。この番号は記入しないでください。本機は工事設計認証を受けた適合表示無線設備です。



【保証期間が過ぎているときは】

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況(できるだけ具体的に)、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

【修理料金の仕組み】(有料修理の場合は下記の料金が必要です。)

- 技術料** : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代** : 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 送料** : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

保証とアフターサービス

【保証書】

この製品には、スタートアップガイド(本書)の裏表紙に保証書を記載しています。保証書にお買い上げ年月日、販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出ください。購入日の確認ができる書類(シールやレシートなど)の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。

【保証期間】

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

【補修用性能部品の最低保有期限】

弊社は本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【修理に関する相談窓口】

修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧ください。JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

URL <https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

【製品に関する相談窓口】

製品および製品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。お買い上げいただいたケンウッド製品をご愛用いただくために、弊社ウェブサイト内でユーザー登録することをおすすめします。

URL <https://jp.my-kenwood.com>

修理を依頼されるときは

異常のあるときはご使用を中止し、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

仕様

一般仕様				
周波数範囲		A/B バンド 送信：144 - 146, 430 - 440 MHz A バンド 受信：108 - 174, 410 - 470 MHz B バンド 受信：108 - 524 MHz (VFO 動作範囲)		
電波型式		送信 F1D, F2D, F3E, F7W 受信 F1D, F2D, F3E, F7W, A3E		
使用温度範囲		-20 ° C ~ +60 ° C		
周波数安定度		+/- 2.0 ppm		
アンテナ インピーダンス		50 Ω		
電源電圧範囲		DC-IN DC 11.7 - 15.9 V (STD: DC 13.8 V)		
送信時電流 (TYP.)		TM-D750S	H 144M 430M	M 13 A 13 A
			L 6.5 A 6.5 A	L 5.0 A 5.0 A
		TM-D750	H 144M 430M	M 8 A 8 A
			L 6.5 A 6.5 A	L 5.0 A 5.0 A
受信時電流 (TYP.)		1.3 A (定格出力時)		
寸法		突起物含まず ^o 本体 140.0(幅) x 180(高さ) x 43(奥行) mm パネル 183.3(幅) x 36.8(高さ) x 93(奥行) mm		
質量		本体 1310 g パネル 370 g		
送信部				
送信出力		TM-D750S	H 50 W	M 10 W
		TM-D750	L 5 W	L 5 W
変調方式		FM DV	リアクタンス変調 GMSK リアクタンス変調	
最大周波数偏移		FM NFM	+/-5.0 kHz +/-2.5 kHz	
送信スプリアス		-60 dBc 以下		
変調歪 (300Hz~3kHz)		3 %以下		
マイクロホンインピーダンス		600 Ω		

受信部		A バンド	B バンド
受信方式		ダブルスーパーヘテロダイン トリプルスーパーヘテロダイン	
中間周波数			
1st IF	A3E	57.15 MHz	58.05 MHz
2nd IF		450 kHz	450 kHz
3rd IF		10.8 kHz	10.8 kHz
感度 (TYP.) アマチュアバンド			
FM	12dB SINAD		
FM/ NFM	144/ 220 MHz	0.16/ 0.20 uV	0.16/ 0.20 uV
FM/ NFM	430 MHz	0.16/ 0.20 uV	0.16/ 0.20 uV
DV	PN9/ GMSK 4.8 kbps, BER 1%		
	144 MHz	0.22 uV	0.22 uV
	430 MHz	0.22 uV	0.22 uV
AM	10 dB S/N	0.50 uV	0.50 uV
上記アマチュアバンドを除く			
AM	10 dB S/N		
	118 - 174 MHz	0.40 uV	0.40 uV
	216 - 240 MHz	0.40 uV	0.50 uV
	410 - 470 MHz	0.40 uV	0.40 uV
FM	12dB SINAD		
	118 - 144 MHz	0.32 uV	0.32 uV
	146 - 175 MHz	0.32 uV	0.32 uV
	200 - 222 MHz	0.40 uV	0.40 uV
	225 - 240 MHz	0.40 uV	0.40 uV
	380 - 400 MHz	0.56 uV	0.56 uV
	400 - 430 MHz	0.28 uV	0.28 uV
	440 - 490 MHz	0.28 uV	0.28 uV
	490 - 524 MHz	0.56 uV	0.56 uV
スケルチ感度 (TYP.)		0.10 uV	0.10 uV
スプリアス妨害比		144 MHz 430 MHz	60 dB 以上 60 dB 以上
IF 妨害比			60 dB 以上
選択度 (FM)		-6 dB -50 dB	12 kHz 以上 30 kHz 以下
AF 出力		3W 以上/ 8 Ω	
GPS			
対応衛星		GPS/QZSS/Galileo	
Wireless Connection			
Bluetooth バージョン, クラス		Version 5.0, Class 1 HSP, SPP	
WLAN Frequency Range		2.4 GHz, 5 GHz 802.11 a/b/g/n/n/ac	
WLAN Security		WPA2-PSK(AES)、WPA2/WPA3 Transitional、WPA3-SAE	



- ◆ 送信部および受信部は、JAIA(日本アマチュア無線機器工業会)で定めた測定法による数値です。
- ◆ 仕様は技術開発に伴い予告なしに変更することがあります。

■ 受信できない周波数について

受信周波数の表示の関係によっては無変調信号を受信することがあります。これはセット固有の周波数構成によるものです。式と例を示します。

	<A バンド>	<B バンド>
V x U 受信時	$(V_{RX} + 57.15 \text{ MHz}) \times n - (U_{RX} - 58.05 \text{ MHz}) \times m = \pm 57.15 \text{ MHz}, \pm 58.05 \text{ MHz}$ 例) A バンド : 146.000 MHz、B バンド : 147.6625 MHz の場合、B バンドが無変調信号を受信します。	
U x V 受信時	$(U_{RX} - 57.15 \text{ MHz}) \times n - (V_{RX} + 58.05 \text{ MHz}) \times m = \pm 57.15 \text{ MHz}, \pm 58.05 \text{ MHz}$ 例) A バンド : 440.000 MHz、B バンド : 147.6625 MHz の場合、A バンドが無変調信号を受信します。	
U x U 受信時	$(U_{RX} - 57.15 \text{ MHz}) \times n - (U_{RX} - 58.05 \text{ MHz}) \times m = \pm 57.15 \text{ MHz}, \pm 58.05 \text{ MHz}$ 例) A バンド : 431.84375 MHz、B バンド : 440.000 MHz の場合、B バンドが無変調信号を受信します。	

V_{RX} : VHF 受信周波数、 U_{RX} : UHF 受信周波数
n,m は任意の整数

19.2MHz の n 倍
55.95MHz の n 倍
11.0592MHz の n 倍付近
144.385MHz
147.465MHz
442.385MHz

電波を発射する前に

アマチュア局は、自局の発射する電波が、テレビやラジオの受信に障害を与えたり、障害を受けているとの連絡を受けた場合は、ただちに電波の発射を中止し障害の有無や程度を確認してください。

参考 無線局運用規則 第8章 アマチュア局の運用第258条

アマチュア局は、自局の発射する電波が他の無線局の運用又は放送の受信に支障を与え、若しくは与えるおそれがあるときは、すみやかに当該周波数による電波の発射を中止しなければならない。以下省略

障害が自局の電波によるものと確認された場合、無線機、アンテナ系を点検し障害に応じて JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターやお買い上げの販売店などに相談するなどして、適切な処置をおこなってください。

受信側に原因がある場合、障害対策は単に技術的な問題にとどまらず、ご近所付き合いなどで、むずかしい場合もあります。

日本アマチュア無線連盟 (JARL) では電波障害の対策と防止についての相談窓口を開設しておりますので、対策にお困りの場合はご相談ください。

日本アマチュア無線連盟 (JARL)

〒170-8073 東京都豊島区南大塚 3-43-1 大塚 HT ビル 6 階 lab@jarl.org

製品を安全にお使いいただくために

日頃は JVC ケンウッドの製品をお使いいただきありがとうございます。長期の使用、または長期保管のあとに使用された通信機は、電気部品などの経年劣化がすすんでいる場合があります。感電、火災の原因になるおそれがありますのでご注意ください。

下記のような異常に気づかれたら、直ちに使用を中止し JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡ください。

- 煙が出る。
- 音がひずむ。雑音が出る。異音がする。
- 変なにおいがする。
- 製品を振ると、内部から異物 (ねじ、クリップなど) が入っているような音がする。
- 製品本体、電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- 交換しても、すぐにヒューズが切れる。
- 電源を入れるとブレーカーが落ちる。
- 電源を入れると火花が出る。
- 落雷があったあと、正常に動作しなくなった。
- さわるとビリビリと電気を感じる。

保証書規定

【無料修理規定】

- 1 本保証書に呈示の保証期間内にスタートアップガイドおよび取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店または JVCケンウッド・サービスにて無料修理をさせていただきます。
- 2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- 3 ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 4 ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- 5 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 本保証書のご提示のない場合。
 - (2) 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
 - (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
 - (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (7) 一般家庭用に製造された製品を、業務用途で使用された場合の故障及び損傷。
 - (8) 製造番号の改変および取り外した製品。

- (9) 消耗部品（乾電池、充電池等）の交換。
- (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

7 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

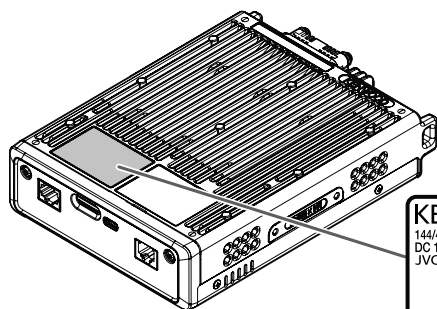
固定電話からは、フリーダイヤル		0120-2727-87
携帯電話からは、ナビダイヤル		0570-010-114
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は		045-450-8950
FAX を送信される場合は		045-450-2308
住所	〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12	
受付日	月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）	
受付時間	月～金曜日 9:30～18:00 土曜日 9:30～12:00 / 13:00～17:30	

株式会社 JVCケンウッド

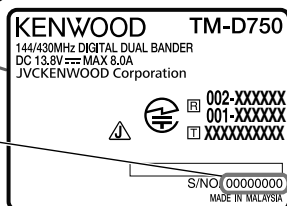
〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

© 2026 JVCKENWOOD Corporation

保証書についてお客様へのお願い



製造番号
(シリアルナンバー)



保証書にお買い上げ年月日、販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出ください。購入日の確認ができる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。

修理の際、保証書を提示いただく場合は、お客様にて以下の内容を保証書に記入をお願いします。

- お客様のお名前
- お客様のご住所
- お客様の電話番号
- 製品の製造番号

製品の製造番号(シリアルナンバー)は、左図の位置に記載されています。

KENWOOD 無線機器 保証書

持込修理

型 名	TM-D750/ TM-D750S	※製造番号(S/NO.)
お 客 様	※お名前	様
	※ご住所 〒	
	※電話番号 ()	
※お買い上げ日	※取扱販売店名、住所、電話番号	
年 月 日		
保証期間(お買い上げ日より)		
本体: 1 年		
年		

※印欄について、記入をお願いします。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からはフリーダイヤル		0120-2727-87
携帯電話からはナビダイヤル		0570-010-114
一部の IP 電話からは		045-450-8950
住所	〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12	
受付日	月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）	
受付時間	月～金曜日 9:30～18:00 土曜日 9:30～12:00 / 13:00～17:30	